

令和 5 年度 小学部 4 年 (I 課程) 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
245	国語 四 上下 かがやき	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</p> <p>(思判表力) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。</p> <p>(学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	31	<p>(知及技) ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(1)ク (思判表力) ◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(C(1)イ) ○文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。 (学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク (思・判・表) ・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) (主学) ・積極的に、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って、考えたことを話し合おうとしている。</p>	白いほうし	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習の見通しをもつ。 2. 場面と登場人物を整理し、中心となる人物の様子に気をつけて音読する。 3. 不思議だと思った出来事を友達と話し、考えを深めたいことを問いの形にする。 4. 問いについて、つながりのありそうなところや描写などに着目して考える。 5. 問いについて考えたことを友達と話し合う。 6. 問いについて考えたことをノートにまとめる。 7. 全体を通して考えたことを発表する。 8. 学習を振り返る。
	30	<p>(知及技) ◎考えとそれを支える理由や事例との関係について理解することができる。(2)ア ○段落の役割について理解することができる。(1)カ (思判表力) ◎段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。(C(1)ア) ○文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。(1)オ (学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) ・考えとそれを支える理由や事例との関係について理解している。(2)ア ・段落の役割について理解している。(1)カ (思・判・表) ・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) (主学) ・考えとそれを支える理由や事例との関係などを捉えることに積極的に取り組み、学習課題に沿って自分の考えを発表しようとしている。</p>	思いやりのデザイン アップとルーズで伝える 【じょうほう】考えと例	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習の見通しをもつ。 2. 「思いやりのデザイン」を読み、筆者の考えを捉えて自分の考えをもつ。 3. 「アップとルーズで伝える」を読み、段落どうしの関係を考える。 4. 「アップ」と「ルーズ」をどのように対比しながら説明しているかを捉える。 5. 筆者の考えに対する自分の考えをもつ。 6. 「アップとルーズで伝える」ということについて考えたことを発表する。 7. 学習を振り返る。 8. P59「考えと例」を読み、情報と情報との関係に「考えと例」があることとその大切さを確かめ、例を挙げて自分の考えを伝える。
	30	<p>(知及技) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(1)オ (思判表力) ◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(C(1)エ) ○登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(C(1)イ) ○文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。(C(1)オ) (学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ (思・判・表) ・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) (主学) ・進んで登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って、物語の感想を書こうとしている。</p>	一つの花	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習の見通しをもつ。 2 物語の設定を確かめ、内容を捉える。 3 「一つだけ」という言葉に着目して読む。 4 詳しく読んで考えが変わったところを中心に、感想をまとめる。 5 感想を読み合い、互いの考え方や感じ方の違いを見つけて伝え合う。 6 学習を振り返る。

10	<p>(知及技) ○詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(1)ク (思判表力) ◎詩を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(C(1)オ) ○詩を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(C(1)カ) (学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) ・詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク (思・判・表) ・「読むこと」において、詩を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、詩を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) (主学) ・詩を読んで理解したことに基づいて、進んで感想や考えをもち、学習課題に沿って、詩を読んだ感想を述べようとしている。</p>	<p>忘れもの ぼくは川</p>	<p>1. 場面の様子や人物の気持ちを想像しながら声に出して読む。 2. それぞれの詩の特徴的な表現について話し合う。 3. 呼びかけ、擬人法など表現の工夫に目を向ける。 4. それぞれの詩の「ぼく」はどんな思いをもっているかを考える。</p>
32	<p>(知及技) ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(1)オ (思判表力) ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(C(1)カ) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(C(1)工) ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(C(1)オ) (学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ (思・判・表) ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)工) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) (主学) ・学習の見通しをもつて、読んで考えたことを話し合い、一人一人の感じ方などに違いがあることに積極的に気づこうとしている。</p>	<p>ごんぎつね</p>	<p>1 扉の詩を読み、目次やP4「四年生の国語の学びを見わたそう」、P9「分ける・くらべる」を見て、下巻の国語学習を見通すとともに、国語学習で用いる力や情報の整理のしかたを確かめる。 2 学習の見通しをもつ。 3 登場人物に焦点を当てて読み、初発の感想を書く。 4 教材文を読み、登場人物の行動や気持ちの変化を捉える。 5 詳しく読んで分かったことをもとに、物語や登場人物についての考えをまとめる。 6 考えたことをグループで交流し合い、友達との考えと比べながら、自分の考えを深める。 7 学習を振り返る。</p>
31	<p>(知及技) ◎事典の使い方を理解し使うことができる。(2)イ ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(3)オ (思判表力) ◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(B(1)ウ) ◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。(C(1)ウ) (学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) ・事典の使い方を理解し使っている。(2)イ ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ (思・判・表) ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。(C(1)ウ) (主学) ・進んで中心となる語や文を見つけて要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係の書き表し方を工夫したりしようとし、学習の見通しをもつて、調べて分かったことなどをまとめて書こうとしている。</p>	<p>世界にほこる和紙 【じょうほう】百科事典での調べ方 伝統工芸のよさを伝えよう</p>	<p>1 学習の見通しをもつ。 2 「世界にほこる和紙」を読み、中心となる語や文を見つけて要約する。 3 伝統工芸に関する本を読み、伝統工芸のよさが書かれていると思う部分を中心に要約する。 4 要約した文章を読み合い、要約のしかたや伝統工芸のよさについて感じたことを伝え合う。 5 伝統工芸についてのリーフレットを作る見通しをもち、調べたいものを決める。 6 選んだ伝統工芸について詳しく調べ、分かったことを書き出す。 7 組み立てと資料の使い方を考える。 8 考えた組み立てに沿って説明する文章を書く。 9 完成したリーフレットを読み合い、分かりやすく書いているところを伝え合う。 10 学習を振り返る。</p>
32	<p>(知及技) ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(1)オ (思判表力) ◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(C(1)工) ○登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(C(1)イ) (学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ (思・判・表) ・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)工) (主学) ・学習の見通しをもつて、積極的に登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、物語の魅力を紹介する文章を書こうとしている。</p>	<p>プラタナスの木</p>	<p>1. 学習の見通しをもつ。 2. それぞれの場面の様子や出来事を確かめる。 3. 話し合って考えを深める。 4. 物語の魅力について考え、紹介する文章を書く。 5. 学習を振り返る。</p>

	<p>(知及技) ・様子や行動を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(C(1)オ) (思判表力) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(C(1)オ) ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(C(1)カ) ○目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。(C(1)ウ) (学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) ・様子や行動を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(C(1)オ) (思・判・表) ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) (主学)文章を読んで理解したことに基づいて、進んで感想や考えをもち、学習課題に沿って、教材文を紹介する文章を書こうとしている。</p>	ウサギのなぞを追って	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習の見通しをもつ。 2. 文章を読み、感想をもつ。 3. 興味をもったことに沿って文章全体を読み、要約する。 4. 教材文を紹介する文章を書く。 5. 学習を振り返る。
3 学期	<p>(知及技) ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(C(1)オ) (思判表力) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(C(1)オ) ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(C(1)カ) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(C(1)エ) (学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(C(1)オ) (思・判・表) ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) (主学) ・学習の見通しをもって、進んで読んで感じたことをまとめて伝え合い、文章を読んで感じたことや考えたことを共有して、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づこうとしている。</p>	初雪のふる日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習の見通しをもつ。 2. 女の子にどんな出来事が起こったのかを確認しながら読む。 3. 場面の様子を表す言葉などに着目して、女の子の様子や気持ちの変化を考える。 4. 全文を読み返し、感じたことを文章にまとめる。 5. 書いたものをグループで読み合う。 6. 学習を振り返る。
留意点 引継ぎ等				

令和 5 年度 小学部 4 年 (I 課程) 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
105	小学社会 4 (教育出版)	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを選択・判断したことを表現する力を養う。</p> <p>(学・人) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。</p>
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	24	<p>(知及技) 自分たちの都道府県の地理的環境の概要について、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 自分たちの県の地理的環境の特色について、文章で記述したり、資料などを用いて説明したり話し合ったりする力を養う。</p> <p>(学・人) 自分たちの都道府県の地理的環境の概要について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) ・自分たちの都道府県の地理的環境の概要を理解している。 ・自分たちの県の様子について、地図や各種の資料で調べ、白地図などにまとめている。</p> <p>(思・判・表) ・我が国における自分たちの都道府県の位置、都道府県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、都道府県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現している。</p> <p>(主学) ・都道府県の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>	県の地図を広げて	<p>○地図帳を見て、自分たちの県の位置について様々な表現で言い表したり、県の様子について知りたいことや疑問に思ったことを話し合ったりして、学習問題をつくり、学習計画を立てる。</p> <p>○県の地図を使って、県の地形や土地の様子を等高線から読み取り、県の地勢の概要について調べる。</p> <p>○土地利用図を活用して、自分たちの県の土地の使われ方を地形と関係づけて読み取り、わかったことをノートにまとめる。</p> <p>○地図や写真、グラフなどを使って、自分たちの県の主な農産物や海産物と、それらの主な産地を調べ、わかったことをノートにまとめる。</p> <p>○地図や写真、グラフなどを使って、自分たちの県の主な工業製品と工業が盛んな地域や分布について調べ、わかったことをノートにまとめる。</p> <p>○地図や写真を使って、県内の主な交通の様子や空港・港の位置などを調べ、交通の広がり方を読み取ったり、その広がり方の理由について考えたりする。</p> <p>○県の地形や産業、交通の様子について分かったことを白地図に表現したり、白地図に書き込んだものを見ながら、県の様子を表などに整理したりする。</p>
1 学期	15	<p>(知及技) ごみを処理する仕組みについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) ごみを処理する仕組みや処理に協力する人々の取り組みについて、それらが果たす役割を考え、ごみ処理に見られる課題を把握して、その課題の解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを選択・判断したことを表現する力を養う。</p> <p>(学・人) ごみの処理について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。</p>	<p>(知・技) ・ごみを処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。</p> <p>・ごみを処理する仕組みやその再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめている。</p> <p>(思・判・表) ・ごみを処理するための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現している。</p> <p>(主学) ・学習したことをもとに、ごみを減らすために自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして、自らもごみの適切な処理や再利用に協力しようとしている。</p> <p>・ごみの処理について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>	健康なくらしとまちづくりごみはどこへ	<p>○家から出るごみの種類や量と、ごみを収集するときのきまりを調べ、気になったことや疑問に思ったことを話し合う。</p> <p>○身の回りから出たごみについて調べて疑問に感じたことや知りたいと思ったことを話し合い、学習問題をつくり、学習計画を立てる。</p> <p>○ごみの出し方、収集の仕方や工夫を調べる。</p> <p>○清掃工場を見学し、燃やすごみの処理の仕方と、処理する際の工夫について調べる。</p> <p>○最終処分場での処理の仕方や処理の工夫について調べ、ごみのゆくえについてまとめる。</p> <p>○資源ごみの処理の仕方と、分別された資源ごみのゆくえを調べる。</p> <p>○ごみを処理する仕組みについて調べたことをふり返り、わかったことと新たに生じた問いについて話し合う。</p> <p>○市のごみの量の変化やごみの処理にかかる費用の変化について調べ、変化の理由を調べる。</p> <p>○地域で働く人々のごみを減量するための取り組みとその工夫について調べる。</p> <p>○地域の人々が行うごみ減量の活動をさらに調べ、人々が活動する上で大切にしていることを考える。</p> <p>○ごみに関わる問題やごみを減量するための地域の人々の活動をふり返り、ごみの減量のために自分たちにできることを考え、表現する。</p>

<p>15</p>	<p>(知及技) 水を供給する仕組みについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 水を安定的に供給するための仕組みや人々の取り組みについて、それらが果たす役割を考え、水をどのように使っていけばよいかについて選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。 (学・人) 水の供給や使い方について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。</p>	<p>(知・技) ・水道を供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。 ・水道を供給する事業について、関連施設や事業所を見学したり、地図や関係機関が作成した資料などで調べたりして、県の白地図や図表などにまとめている。 (思・判・表) ・水道の供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、飲料水の供給のための事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現している。 (主学) ・学習したことをもとに、水を大切な資源として捉え、節水などに向けて、自分たちが協力できることなどを考えたり選択・判断したりするなど、資源の有効利用に関心を含めようとしている。</p>	<p>健康なくらしとまちづくり 水はどこから</p>	<p>○自分の家の水の用途や使用量、学校の水の使用量などを調べ、疑問に感じたことを話し合う。 ○水の供給について、知りたいことや疑問に思ったことを整理して学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ○地図や写真資料などを用いて、自分たちの使う水が送られてくる経路について調べる。 ○浄水場にある施設や浄水の仕組みについて、働く人から話を聞いたり、図解を見たりして調べる。 ○ダムを見学して、ダムや森林のはたらきについて、係の人から話を聞いたり、図解を見たりして調べる。 ○水源の美化活動や水源の森林を守る活動に携わる人、活動に協力する県の担当者などから話を聞いたり、活動している場所を地図で確認したりする。 ○水道管の役割について話し合ったり、水道管を守る人々の取り組みについて調べたりして、水道管の普及が人々の暮らしに与えた影響について考える。 ○使った後の水のゆくえと、下水処理のはたらきを調べる。 ○調べた水の供給経路をふり返り、水の使われ方の変化に着目して、節水への取り組みについて調べる。 ○水が供給されるまでの経路をすころくに表し、水道事業の役割や人々の協力について考え、学習問題について自分の考えをまとめる。 ○ごみの減量や節水を暮らしの中で実践して思ったことや気になったことを話し合い、これからの自分たちの行動に生かすためにどうしたらよいかを考える。</p>
<p>15</p>	<p>(知及技) 自然災害から地域の安全を守るための諸活動について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 自然災害から地域の安全を守るための諸活動の特色や関連機関や人々の協力を捉えて、そうした取り組みの意味を考え、地域に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。 (学・人) 自然災害から地域の安全を守るための諸活動について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。</p>	<p>(知・技) ・地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことを理解している。 ・地域の関係機関や人々は、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。 (思・判・表) ・過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現する。 ・地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして表現している。 (主学) ・自然災害から人々を守る活動について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ・学習したことをもとに地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えようとしている。</p>	<p>自然災害にそなえるまちづくり 地震にそなえるまちづくり</p>	<p>○地震災害や津波災害と、それらへの備えについて知りたいことを話し合い、調べたいことを明らかにして学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ○市役所へ行き、係の人から地震や津波に備える市や県、その他の関係機関のはたらきについて話を聞く。そして、調べたことを、ノートや図にまとめる。 ○地震災害時に市は住民に向けてどのように情報を収集し、発信しているか、また、災害への備えとして、日頃よりどのような情報をどうやって提供しているかについて、市役所の係の人に話を聞き、調べる。 ○地域にある避難地や避難施設、防災設備と、それらの設置されている場所について市役所の係の人に話を聞き、調べる。 ○地震防災センターの中を見学しながら、県内で過去に起こった地震災害について、係の人から話を聞いたり、年表や展示資料などを見たりして調べる。 ○地域の自治会の人や住民の自主防災の取り組みについて話を聞いたり、自主防災倉庫の中を見せてもらったりして調べる。 ○様々な状況下での災害発生を想定した避難訓練や、災害時に主体的に判断して身を守ったという事例などを調べ、災害時に確実に身を守るために大切なことについて考える。 ○大きな地震の発生に備えて誰がどのような取り組みをしているか、また、実際に地震や津波が発生すると、誰がどのようにして人々の命を守るのかについて、調べてきたことをまとめる。</p>
<p>15</p>	<p>(知及技) 地域の伝統と文化について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 地域の伝統と文化の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。 (学・人) 地域の伝統と文化について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。</p>	<p>(知・技) ・県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解している。 ・県内の伝統や文化について、博物館などを見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめている。 (思・判・表) ・文化財や年中行事の歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現している。 ・地域の伝統や文化を保護したり継承したりするために自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりしたことを表現している。 (主学) ・県内の伝統や文化について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ・学習したことをもとに、地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりしようとしている。</p>	<p>地域で受けつがれてきたもの</p>	<p>○地域の伝統行事の写真などを見て、知っていることや感じたことを話し合う。 ○興味を持った地域の伝統行事について、展示物や資料、年表などを見て、気になったことや疑問に思ったことをもとに、学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ○学習問題を解決していくために、図書館やインターネット等を活用しながら調べる。 ○調べた事柄について、それぞれの歴史や保存・継承のための取り組みといった項目に分けて表に整理する。整理した表を見て、調べた文化財や年中行事に関する共通点、相違点を見出す。</p>

3 学 期	11	<p>(知及技) 地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 地域の発展に尽くした先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて、先人が当時の地域や人々の生活の向上に貢献したことを考え、表現する力を養う。 (学・人) 地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。</p>	<p>(知・技) ・地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。 ・先人の働きについて、博物館や資料館などを見学したり、昔と現在の市の地図や写真などの資料で調べたりして、年表などにまとめている。 (思・判・表) ・当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめ、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現している。 (主学) ・先人の働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>	昔から今へと続くまちづくり	○昔から沖縄に伝えられる文化を保護、伝承するために伊波普猷はどのような努力をしてきたのかを調べたり、伊波普猷によって沖縄の人々は自分たちの文化をどのように捉えるようになったかを考えたりする。
	10	<p>(知及技) 自分たちの県内の特色ある地域について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 自分たちの県内の特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、文章で記述したり、白地図などにまとめたことをもとに説明したりする力を養う。 (学・人) 自分たちの県内の特色ある地域について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。</p>	<p>(知・技) ・県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。 ・地図帳や各種資料で調べ白地図などにまとめている。 (思・判・表) ・特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。 (主学) ・県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>	わたしたちの県のまちづくり	○県内から、地場産業が盛んな地域、歴史景観（または自然環境）に特色ある地域、国際交流が盛んな地域を調べる対象として選び出す。 ○県内の地域について特色を押さえながら、興味をもった地域について調べるため、学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ○調べ学習を通して分かったことを整理してまとめる。
		留意点 引継ぎ等			

令和 5 年度 小学部 4 年 (I 課程) 算数科 年間指導計画

単位数 / 配当時数	教科書 / 副教材等	担当者名
210	みんなと学ぶ算数 4 年 上下 (学校図書)	

目標 : (知及技) 知識及び技能 (思判表力) 思考力、判断力、表現力等 (学・人) 学びに向かう力・人間性等
 評価 : (知・技) 知識・技能 (思・判・表) 思考・判断・表現 (主学) 主体的に学習に取り組む態度

年間目標		<p>(知及技) 小数及び分数の意味と表し方、四則の関係、平面図形と立体図形、面積、角の大きさ、折れ線グラフなどについて理解するとともに、整数、小数及び分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や角の大きさを求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。 (学・人) 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	13	<p>(知及技) 億、兆の単位と表し方、数の読み方や書き方を知り、整数は十進位取り記数法で表されていることを理解することができる。 また、兆の位までの数を、万、億、兆の単位を用いて、正しく読んだり書いたりできる。 また、兆の位までの数を、万、億、兆の単位を用いて、正しく読んだり書いたりできる。</p> <p>(思判表力) 十進位取り記数法の考えをもとに、数の大小比較をしたり、倍の関係を調べたりしながら、数の仕組みを考える力を養う。</p> <p>(学・人) 身の回りの大きい数に関心をもち、十進位取り記数法の考えをもとに、数の仕組みを調べようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 億、兆の単位と表し方、数の読み方や書き方を知り、一、十、百、千を繰り返す十進位取り記数法の仕組みやよさがわかり、整数についての理解を深めることができる。 また、兆の位までの数を、万進法をもとに、万、億、兆の単位を用いて手際よく読んだり書いたりできる。</p> <p>(思・判・表) 十進位取り記数法の考えをもとに、数の大小関係や、10 倍、100 倍、1000 倍、1/10 の数は、数字の位置は動かが数の並びは変わらないことなどを見いだし、数の仕組みについて理解し、考えている。</p> <p>(主学) 身の回りの大きい数に関心をもち、十進位取り記数法で表すよさに気づき、数の仕組みからその大きさをとらえたり、比較したりしようとしている。</p>	「大きい数」数の表し方やしくみを調べよう	<ul style="list-style-type: none"> ● 千万より大きい位の存在を知り、大きい数の表し方を考える。 ● 一億の単位とその表し方を知る。 ● 十進位取り記数法をもとに、一兆の単位を知る。 ● 4 桁の区切りのよさを生かして、兆の位までの数を正しく読む。 ● 位取り表を用い、3256900 の 10 倍、100 倍、1000 倍を調べる。また、その逆操作で 1/10 の数を考える。 ● 数直線上に表した数を読んだり、数を数直線上に表したりする。 ● 比べる数の位を調べて、大小比較をしたり、不等号で表したりする。 ● 整数の位ごとの性質を知る。 ● 単位と単位の間隔を知り、整数の表し方の仕組みをまとめる。 ● 位取り表を用いて、数の相対的な大きさを考えて大きい数の仕組みを考える。 ● 大きい数の加減の式は、2 通りあることを知る。 ● 万、億、兆の単位を用いた、加減乗除の計算のしかたを理解する。 ● 加減乗除の計算の答えを、日本では和差積商ともいうことを知り、使い方に慣れる。
	13	<p>(知及技) 折れ線グラフの読み方、かき方を理解し、折れ線グラフは、2 つの数量の変化の様子をわかりやすく表せることを理解することができる。 資料を折れ線グラフに表し、線の傾きから、部分の変化や全体的な傾向を読み取ることができる。 (思判表力) 折れ線グラフのよさや、効果的なかき方を工夫し、グラフから、統計的な特徴や傾向について考える力を養う。 (学・人) 身の回りの変化する量を、折れ線グラフに表して調べようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 折れ線グラフのかき方や折れ線の傾きの意味を理解している。また、折れ線グラフは、2 つの数量の変化の様子をわかりやすく表すことができることを理解し、正確にグラフをかき、線の傾きから変化の様子を読み取ることができる。 (思・判・表) 目盛りのとり方を変えると、グラフの変化がよくわかることに気づき、グラフのかき方を工夫し、グラフから、統計的な特徴や傾向について考えている。 (主学) 身の回りの変化する量を、折れ線グラフに表して変化の特徴や傾向を調べようとしている。</p>	「折れ線グラフ」変わり方がわかりやすいグラフを調べよう	<ul style="list-style-type: none"> ● 表と棒グラフを見て、月ごとの違いや気温の変わり方を読み取る。 ● 量の変化を表す折れ線グラフを知る。 ● 折れ線グラフを構成する要素や読み方を調べる。 ● 資料に合わせた折れ線グラフのかき方を考え、横軸、縦軸の目盛りのとり方、単位の書き方、点の打ち方、表題のつけ方を知る。 ● 教室の気温の変わり方や影の長さを調べ、折れ線グラフをかく。 ● 省略のある折れ線グラフと、そうでない折れ線グラフを比較し、よさを知る。 ● 省略のある折れ線グラフを使って、変化を読み取る。

13	<p>(知及技) $(2, 3位数) \div (1位数)$ の除法について、筆算の仕組みや被除数・除数・商・余りの関係を理解し、計算のしかたについてわかりやすく説明できる。 (思判表力) 既習の計算のしかたをもとに、$(2, 3位数) \div (1位数)$ の計算のしかたを考える力を養う。 (学・人) 除法の筆算形式のよさに気づき、進んで筆算しようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 除法の筆算について各段階の意味を理解している。また、被除数・除数・商・余りの関係を理解している。 $(2, 3位数) \div (1位数)$ の筆算が手際よくでき、答えの確かめも正しくできる。 (思・判・表) $(2, 3位数) \div (1位数)$ の計算のしかたを既習の基本的な計算をもとに考え見いだしている。また、筆算のしかたや余りについて、具体的な場面と結びつけながらまとめている。 (主学) 除法の筆算形式のよさに気づき、進んで筆算しようとしている。また、答えについての確かめを進んでしようとしている。</p>	<p>「1けたでわるわり算」筆算のしかたを考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●除法の場面を式に表し、除法の筆算形式を知る。 ●除法の筆算をする。 ●除法の答えの確かめのしかたを考える。 ●(何十、何百) \div (1位数) の除数は、10や100を単位とすると、既習の除法と同様に計算できることを知る。 ●余りのない(2位数) \div (1位数) の計算のしかたを考える。 ●除法の計算のしかたと筆算とを結びつけて、筆算の計算手順を理解する。 ●余りのある除法の筆算をする。 ●商に0がたつ除法の筆算をする。 ●(3位数) \div (1位数) の計算を位ごとに分けて計算するしかたを考える。 ●(3位数) \div (1位数) で商が3位数になる場合の筆算のしかたを考える。 ●(3位数) \div (1位数) で、商が2位数になる場合の筆算のしかたを考える。 ●問題場面を絵やテープ図や数直線などに表し、式を立てる。
13	<p>(知及技) 回転の大きさを表す量としての角の意味や、角の単位「度(°)」や測定の意味を理解し、角の大きさについての豊かな感覚をもつことができる。また、分度器を用いて角の大きさを測定したり、必要な大きさの角を作ったりできる。 (思判表力) 角の大きさも、ほかの量と同様に単位とする大きさを決め、そのいくつかで測ればよいと考える力を養う。 (学・人) 身の回りの角を進んで調べたり、必要な角を進んで作ったりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 回転の大きさを表す量としての角の意味や、角の単位「度(°)」や測定の意味、普遍単位のよさを理解し、角の大きさの見当をつけるなど、角の大きさについての豊かな感覚をもつことができる。また、角の大きさを見当づけたり測定の誤りを少なくする工夫をしたりして、角を測ったり作ったりできる。 (思・判・表) 角の大きさも、単位とする大きさを決め、そのいくつかで表せることを見いだすとともに、普遍単位の必要性やよさを考えている。 (主学) 身の回りからいろいろな角を見つけ出し、角の大きさを比較したり、正確に調べたりしようとしている。</p>	<p>「角」角の大きさのはかり方やかき方を考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●辺の開きぐあいとしての、角の大きさを比べる方法を見つける。 ●回転によってできる角の大きさを調べる。 ●角の大きさを表す単位として、直角、〇度(°)があることを知る。 ●分度器の使い方を理解し、使い方に慣れる。 ●直角の大きさを知る。 ●分度器を使って、角を正しく測る。 ●180°より大きい角度を工夫して測る。 ●三角定規の角の大きさを知る。 ●三角定規の角を組み合わせ、角度の求め方を考える。
13	<p>(知及技) 垂直・平行の意味、台形、平行四辺形、ひし形の定義や性質、対角線の意味を理解しており、図形についての豊かな感覚をもつことができる。また、垂直・平行な直線の作図や台形、平行四辺形、ひし形の作図が正しくできる。 (思判表力) 垂直・平行という観点で、2直線の関係を考えたり、四角形について分類し、分類した観点や分類した図形ごとの特徴を見いだしたりする力を養う。 (学・人) 垂直・平行な直線の関係や図形の定義や性質をもとに、進んで調べたり作図したりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 垂直・平行の意味、辺や角、対角線に着目して、台形、平行四辺形、ひし形の性質がわかり、観点を明確にして説明でき、いろいろな方法で正しく作図することができる。また、敷き詰め活動を通して、できた模様の特徴を見いだしたり、美しさを感じたりして、図形についての豊かな感覚をもつことができる。 (思・判・表) 三角定規や分度器を用い、2直線の距離や角度から2直線の関係を考えている。 四角形について、違いに気づき分類し、図形の相違点や共通点に着目しながら、分類した観点や分類した図形ごとの特徴を言葉や図などを用いて表現している。 (主学) 2直線の関係や図形の構成要素に着目していろいろな四角形を調べたり、作図したりして、図形の定義や性質を活用することのよさに気づこうとしている。</p>	<p>「垂直・平行と四角形」四角形のせいしつを調べて仲間分けしよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ドット図を利用して直角を作る。 ●垂直の意味を理解する。 ●垂直な関係にある2直線を調べる。 ●三角定規や分度器を使って、垂直な直線のかき方を考える。 ●平行の意味を知る。 ●平行な直線の性質を調べる。 ●平行な直線の書き方を理解する。 ●ドット図を利用して、四角形を作る。 ●平行な辺の組の数で、四角形を仲間分けする。 ●台形の定義を知り、台形のかき方を知る。 ●平行四辺形の定義を理解する。 ●台形や平行四辺形の定義を理解する。 ●平行四辺形の性質を理解する。 ●平行四辺形の定義や性質を使ったかき方を理解する。 ●対角線の定義を知り、いろいろな四角形の対角線の特徴がわかる。 ●ひし形の定義を知り、辺や角の関係を考える。 ●ひし形の性質やかき方を理解する。 ●平行四辺形とひし形を作図し、いろいろな四角形の性質を理解する。 ●四角形の敷き詰めを通して、四角形の性質を考える。

13	<p>(知及技) 除数が2位数の場合も、除法の計算ができることを理解し、筆算のアルゴリズムを理解することができる。また、除法の場面を式に表したり、除法の計算の手順にしたがって処理をしたりすることができる。 (思判表力) 除法に関して成り立つ性質などをもとに、計算のしかたを考える力を養う。 (学・人) 除数の桁数が増えても、既習事項を活用して、自ら問題を解決しようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 除数が2位数の場合も、既習の除法と同じようにできるとや、仮商のたて方や筆算のアルゴリズムを理解し、整数の除法が用いられる場面の理解を深めており、除法の計算がアルゴリズム通りに正しくできるとともに、0の処理などを省略して簡潔に計算できる。 (思・判・表) 除法に関して成り立つ性質などをもとに、具体物や図、式、既習事項を活用して、計算のしかたを考え、まとめている。 (主学) 除数の桁数が増えても、除法の計算は同じようにできると考え、既習事項を活用して自ら問題を解こうとしている。</p>	<p>「2けたでわるわり算」筆算のしかたを考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●何十でわる計算のしかたを考え、10を単位とした計算の意味を理解する。 ●何十でわる除法で、余りが出る場合について理解する。 ●10を単位として計算した場合の余りの大きさを正しく理解する。 ●(2位数) ÷ (2位数)の筆算のしかたを理解する。 ●除数と被除数をおよその数とみて、仮商をたてる。 ●仮商の見当のつけ方を理解する。 ●仮商が大きすぎた場合の修正のしかたを考える。 ●仮商の修正を含む筆算の手順を理解する。 ●仮商が大きすぎた場合の修正のしかたを考える。 ●仮商の修正を含む筆算の手順を理解する。 ●(3位数) ÷ (2位数) = (1位数)の場合の筆算のしかたを考える。 ●(3位数) ÷ (2位数)で、仮商が10になりそうな場合の筆算のしかたを考える。 ●(3位数) ÷ (2位数)の筆算の手順をまとめる。 ●(3位数) ÷ (2位数) = (2位数)の筆算のしかたを考える。 ●商の一の位に0がたつ筆算のしかたを考える。 ●(3位数) ÷ (3位数) = (1位数)の筆算のしかたを考える。 ●商が同じ除法の式から、除法のきまりを見つける。 ●除法では、被除数と除数に同じ数をかけても、被除数と除数を同じ数でわっても、商は変わらないことを理解する。 ●除法の式のきまりを使って、商を求める。
12	<p>(知及技) 概数の意味や、場面に応じた使い方、概算のしかたを理解し、概算をすることができる。また、四捨五入して、目的に応じた概数を求めることができる。 (思判表力) 目的に応じた概数の表し方や概算のしかたを考えている。 (学・人) 概数や概算を用いるよさを感じ、日常生活から見つけようとしている。</p>	<p>(知・技) 場面や目的に応じた概数の使い方や、四捨五入、切り捨て、切り上げのしかた、目的に応じた概算のしかたを理解し、数についての理解を深め、実際に行うことができる。 (思・判・表) 具体的な場面に応じて、概数にしたり概算をしたりする必要があるかを的確に判断している。また、場面に応じてどのくらいの概数にすればよいかや、概算のしかたを見いだしている。 (主学) 概数や概算を日常生活の場面から見つけようとし、実際に用いようとしている。</p>	<p>「がい数」およその数の表し方や計算のしかたを考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●概数の必要性に気づき、「概数」、「約」の意味を知る。 ●四捨五入の意味を知り、それを用いて概数を求める。 ●身の回りにある数値を概数にする経験を積む。 ●「上から〇けた」という概数の表し方を知る。 ●概数はある範囲の数の代表であることがわかる。 ●目的によっては、切り捨てと切り上げによる概数が用いられることがわかる。 ●加減の概算のしかたがわかり、概算を用いて計算することのよさがわかる。 ●見積もりの意味を知り、上から1桁の概数にして積を見積もる意味や計算のしかたを知る。 ●上から1桁の概数にして、商を見積もる意味や計算のしかたを知る。 ●目的に応じての概算や見積もりのしかたを知る。 ●概数を利用して、資料をグラフに表す。
13	<p>(知及技) 二次元表の整理のしかたや、読み取り方を理解することができる。 図や表を用い、2つの観点に着目して、資料を落ちや重なりなく分類整理できる。 (思判表力) 身近な資料を異なる2つの観点から調べ、その表し方や読み取り方を考える力を養う。 (学・人) 二次元表に整理するよさに気づき、進んで調べようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 調べたい目的に応じた観点を決めて分類整理し、資料の特徴を読み取る方法を理解している。 調べたい目的に応じた観点を2つ決め、必要な項目ごとに手際よく資料を分類整理できる。 (思・判・表) 2つの事項が関係している場合は、落ちや重なりなくまとめるために、2つの観点で分類整理すればよいと考えている。また、表から、資料の特徴について見いだしている。 (主学) どのような観点で分類整理したらよいか考え、よりわかりやすく表をまとめるための工夫をしようとしている。</p>	<p>「しりょうの整理」表のまとめ方を考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●小学生の学校でのけがについて、考察に必要な観点を考える。 ●出された観点について、表にまとめる。 ●2つの観点を組み合わせた二次元表を作成する。 ●資料からわかることをまとめる。 ●資料を見て分類の項目を拾い出し、それをもとにわかりやすい表にまとめる。

13	<p>(知及技) 小数の仕組みや、加法や減法の計算のしかたを理解することができる。 小数第三位までの数を表すことができる。また、小数第二位までの小数の加法や減法の計算ができる。 (思判表力) 十進位取り記数法の原理をもとに、端数部分の表し方や計算のしかたを考える力を養う。 (学・人) 小数の仕組みに関心を持ち、小数の加法及び減法の計算のしかたを考えようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 十進位取り記数法をもとにした小数の仕組みや表し方、加法や減法の計算のしかたを理解し、計算ができる。また、小数第三位までの数を表すことができる。 (思・判・表) 十進位取り記数法の原理をもとに、端数部分の表し方や計算のしかたを論理的に考え、図や言葉を用いて表現しわかりやすくまとめている。 (主学) もとにする単位を10等分して端数部分を数値化しようとしている。また、小数の仕組みをもとに、加法及び減法の計算のしかたを考えようとしている。</p>	<p>「小数」 小数の表し方やしくみを調べよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●かさについて、0.1Lを10等分した1つ分を0.01Lと表すことを理解し、その読み方や書き方を知る。 ●長さについて、1mを10等分した1つ分を0.1m、0.1mを10等分した1つ分を0.01mと表すことを理解し、その読み方や書き方を知る。 ●0.01Lを10等分した1つ分を0.001Lと表すことを理解し、その読み方を知る。 ●小数の位取りについて理解し、小数も整数と同じように、10倍、110ごとに新しい単位を決めて表すことを理解する。 ●小数の相対的な大きさについて理解する。 ●小数の10倍、1/10の関係を理解する。 ●小数の加法の意味と計算のしかたを考える。 ●小数第二位までの小数の加法の筆算のしかたを理解する。 ●小数第二位までの小数の加法で、和の末位が0になったときの処理や位がそろっていない場合の筆算のしかたを考える。 ●小数の減法の意味と計算のしかたを考える。 ●小数第二位までの小数の減法の筆算のしかたを理解する。 ●小数第二位までの小数の減法で、末位のそろっていない場合の筆算のしかたを考える。
13	<p>(知及技) 四則混合の式や()を用いた式の意味がわかり、計算の順序を理解することができる。 数量の関係を式で簡潔に表したり、式を正しく計算したりすることができる。また、□や△などの記号を用いて、計算法則を表すことができる。 (思判表力) 具体的な場面から1つの式をつくったり、式から具体的な場面を考えたりする力や、□や△などの記号を用いると、計算法則を簡潔、一般的に表せることに気づく力を養う。 (学・人) 四則混合の式や()を用いた式を用いたり、□や△などの記号を用いて、交換法則や結合法則、分配法則を簡潔に表せることに気づき、それを活用したりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 四則混合の式の()や乗除部分の意味、計算の順序がわかり、段階的に式を変形する方法を理解している。 問題場面に適した立式をしたり、より簡単に求められるように式を工夫したりして計算することができる。また、□や△などの記号を用いて、計算法則を簡潔に表すことができる。 (思・判・表) 具体的な場面から1つの式をつくったり、式から具体的な場面を考えたりしている。また、□や△などの記号を用いると、計算法則を簡潔、一般的に表せることに気づいている。 (主学) 四則混合の式や()を用いた式を、具体的な場面を想起しながらつくったり、計算の方法を工夫したりしようとしている。また、□や△を用いると、交換法則や結合法則、分配法則を簡潔、一般的に表せるよさに気づき、進んで活用しようとしている。</p>	<p>「式と計算」 計算のきまりを使って式を読み取ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●()を使って、数量の関係を結合式(1つの式)に表す。 ●()のある式の計算のしかたを理解する。 ●()を用いた式から、具体的な場面や一般的な関係を読み取る。 ●乗法・除法で表された式は、1つの数量を表していることを理解する。 ●四則混合の式では、乗除を先に計算することを理解する。 ●()と四則の混合式の計算順序がわかり、正しい順序で計算する。 ●加法・乗法の交換法則・結合法則を確認する。 ●具体的な場面で、分配法則が成り立つことに気づく。 ●数のまとまりや区切りのよい数に着目して、計算のしかたを説明する。 ●分配法則や結合法則を使って、工夫して計算する。 ●乗法や除法の式に、いろいろな数をあてはめ、どんなきまりが成り立つかが調べられる。
13	<p>(知及技) 整数の四則計算の理解を深めることができる。 (思判表力) 既習の計算のしかたを使って、同様の原理で計算を考える力を養う。 (学・人) 既習の計算方法を活用し、計算のしかたを説明しようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 既習の計算方法をもとに、同じ原理で処理できることに着目しながら、整数の四則計算の理解を深めることができる。 (思・判・表) 分配法則を見だし、乗法の筆算形式の中に生かすなど、計算のしかたを考えている。 (主学) 乗法の筆算形式に分配法則を使い、筋道を立てて、計算のしかたを説明しようとしている。</p>	<p>「整数の計算」 整数の計算のしくみをまとめよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●加法や減法は、桁数が多くなっても、これまでと同じように位ごとに計算すればできることを理解する。 ●既習事項をもとにして、(3位数)×(3位数)、(4位数)÷(2位数)の筆算の計算のしかたを説明する。

13	<p>(知及技) 面積の単位と測定の意味がわかり、面積の求め方や単位との関係を理解できる。長方形や正方形の面積を、公式を使って求めることができる。 (思判表力) 広さを数値化する方法、広さに応じた面積の単位や求め方を考えたり、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考えたりする力を養う。 (学・人) 面積の大きさを数値化して表すことよき気づき、いろいろな形の面積を求めようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 面積を数値化するよさや、面積の単位と測定の意味がわかり、面積の求め方や単位との関係を理解している。求積に必要な辺の長さを調べて、長方形や正方形、複合図形などの面積を、公式を使って求めることができる。 (思・判・表) 単位面積を用いて、広さを数値化する方法を考え、図や数、式を用いて表し、正方形や長方形の求積公式を導き出している。 また、辺の長さをういた求積公式のよき気づき、広さや形に応じた求め方を考えている。長さの単位間との関係を考えたりする。 (主学) 面積の大きさもほかの量と同じように、数値化して表すことよき気づき、身の回りのいろいろな形の面積を工夫して求めようとしている。</p>	<p>「面積」 広さの表し方や求め方を調べよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●広さはどんな表し方ができるか考える。 ●任意単位をもとにして、広さを表す。 ●面積の単位 (cm²) を知り、単位面積をもとにして面積を求める。 ●形が変わっても、面積は変わらないことがわかる。 ●同じ面積の様々な図形をかく。 ●周りの長さや面積の大きさの関係について考える。 ●長方形と正方形の面積の求め方を考え、求積公式の意味を説明する。 ●必要な長さを測り取って、面積を求める。 ●面積と1辺の長さがわかっているとき、他の1辺の長さを、求積公式を使って求める。 ●複合図形の面積を工夫して求めるやり方を説明する。 ●必要な辺の長さを測り、複合図形の面積を求める。 ●面積の単位m²を知る。 ●1m²=10000 cm²の関係を理解する。 ●長さの単位が違う場合の面積を求める。 ●単位aを知り、aを使って面積を求める。 ●単位haを知り、haを使って面積を求める。 ●aとhaの関係を考える。 ●単位km²を知り、km²を使って面積を求める。 ●cm², m², a, ha, km²の単位関係の理解を深める。
13	<p>(知及技) 乗数や除数が整数の場合の小数の乗法及び除法の意味と計算のしかたを理解し、筆算を使って計算することができる。 (思判表力) 乗数や除数が整数の場合の小数の乗法及び除法の意味や計算のしかたを、具体物や図、式を用いて考える力を養う。 (学・人) 乗数や除数が整数の場合の小数の乗法及び除法でも、整数の乗法及び除法と同じように計算ができることを見だし、それを活用しようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 乗数や除数が整数の場合の小数の乗法及び除法の意味と計算のしかたを、整数の乗法及び除法の計算のしかたをもとに理解し、正確に筆算でできる。 また、除法の余りのあるときの処理のしかた、商を概数で求める方法を十分理解している。 (思・判・表) 乗数や除数が整数の場合の小数の乗法及び除法の意味や計算のしかたを、整数の乗法や除法の計算のしかたをもとに、具体物や図、式を用いて考え、一般的にまとめている。 また、積や商の小数点の位置について、整数の場合と比較しながら考えている。 (主学) 乗数や除数が整数の場合の小数の乗法及び除法は、整数の乗法及び除法と同じようにできると考え、既習事項を生かして積極的に計算のしかたを考えようとしている。</p>	<p>「小数のかけ算とわり算」 小数の筆算のしかたを考えよう</p>	<p>●正多角形や長方形の辺の長さや面積の単位との関係について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(小数) × (整数) の式の意味を、数直線図を手がかりにして理解する。 ●(小数) × (1位数の整数) の筆算のしかたを考える。 ●積の末尾の0の処理のしかたを理解する。 ●(小数) × (2位数の整数) の計算のしかたを考え、筆算のしかたを理解する。 ●(小数第二位の小数) × (整数) の計算のしかたを考える。 ●積に0を追加して小数点をつけたり、積の末位の0を処理することを理解する。 ●(小数) ÷ (整数) の式の意味を、数直線図を手がかりにして理解する。 ●(小数) ÷ (1位数の整数) の筆算のしかたを考える。 ●(小数) ÷ (2位数の整数) の計算のしかたを考え、筆算のしかたを考える。 ●除数が被除数より大きい場合の筆算のしかたを考える。 ●一の位に0がたつ除法の場合でも、0.1や0.01を単位として考えると計算できることを知る。 ●一の位に0がたつ除法のしかたを理解する。 ●わり進める場合の計算のしかたを考え、筆算の方法を理解する。 ●(整数) ÷ (整数) = (小数) の筆算のしかたを理解する。 ●商を四捨五入して、概数で求める意味や方法を理解する。 ●余りのある小数の除法の計算のしかたを考える。 ●問題場面を図に表し、立式して解決する。
7	<p>(知及技) そろばんには十進位取り記数法の仕組みが用いられていることや、数の表し方、計算のしかたを理解し、簡単な加法や減法の計算をすることができる。 (思判表力) そろばんの仕組みをもとに、億や兆、1/100までの位の数を表すことで、十進位取り記数法の仕組みや計算のしかたを養う。 (学・人) そろばんの仕組みや使い方に関心をもち、進んでそろばんを使おうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) そろばんには十進位取り記数法の仕組みが用いられていることや、そろばんで大きな数を表したり、計算できたりするよさを理解している。また、桁数を増やした加法や減法の計算ができる。 (思・判・表) そろばんの仕組みをもとに、億や兆、1/100までの位の数を表すことで、十進位取り記数法のよさを考え、計算などに活用している。 (主学) そろばんの仕組みや使い方に関心をもち、それを調べたり、そろばんを使っていろいろな計算をしようとしていたりしている。</p>	<p>「そろばん」 数の表し方や計算のしかたを考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●そろばんの仕組みを知り、小数や大きな数をそろばんで表したり数を読んだりする。 ●そろばんを使い、繰り上がり・繰り下がりのある加法・減法の計算をすることができる。

7	<p>(知及技) 分母が違っていても大きさの等しい分数があることや、同分母分数の加法及び減法の計算のしかたを理解し、計算ができる。 1つの分数を、分母を変えていろいろな表し方ができる。 (思判表力) 分数の大きさや、同分母分数の加法及び減法の計算のしかたを養う。 (学・人) 分数の仕組みや同分母分数の加法及び減法の計算のしかたに関心をもち、考えようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) どんな分数も分母が違う大きさの等しい分数に表せることや、同分母分数の加法及び減法の計算のしかたを理解している。 1つの分数を分母の違う分数で表すことができ、また、単位分数をもとにして、同分母分数の加法及び減法の計算ができる。 (思・判・表) 分数の大きさや、同分母分数の加法及び減法の計算のしかたを、単位分数の考えをもとに、具体物や図、式を用いて考えまとめている。 (主学) 異分母で大きさの同じ分数を見つけようとし、同分母分数の加法及び減法の計算のしかたを進んで考えようとしている。</p>	<p>「分数」 分数の大きさや計算のしかたを考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●真分数の意味を理解するとともに、1より大きい量の表し方を考え、2通りの表し方を理解する。 ●帯分数と仮分数の表し方を理解する。 ●帯分数、仮分数の関係を理解する。 ●単位分数の何個分という考えをもとに、帯分数を仮分数に、仮分数を整数または帯分数に表す方法を考える。 ●数直線を手がかりに、分数の大きさは、分母と分子の関係によることを理解する。 ●数直線を用いて、大きさの等しい分数を見つけようとしている。 ●単位分数のいくつ分になるのかという考え方をを用いて、同分母分数(真分数+真分数)の計算のしかたを考える。 ●和が仮分数になった場合は帯分数または整数にすると大きさがわかることを理解し、処理のしかたを身につける。 ●単位分数のいくつ分になるのかという考え方をを用いて、同分母分数(帯分数+帯分数)の計算のしかたを考える。 ●単位分数のいくつ分になるのかという考え方をを用いて、同分母分数の減法の計算のしかたを考える。 ●線り下がりのある同分母分数の計算のしかたを理解している。 ●前時の仮分数に直して計算する方法を思い出して計算しようとする。
7	<p>(知及技) 直方体や立方体の定義を知り、直方体や立方体の辺や面の垂直・平行の関係を理解することができる。 直方体や立方体の見取図や展開図をかくことができる。 ものの位置の表し方について理解することができる。 (思判表力) 立体図形の構成要素やそれらの位置関係に着目し、図形ごとの特徴を見いだしたり、見取図や展開図のかき方を考える力や、ものの位置の表し方について考える力を養う。 (学・人) 立体図形の観察や構成などを通して、その特徴や性質をとらえようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 直方体や立方体の定義を構成要素の関係などをもとに理解し、直方体や立方体の辺や面の垂直・平行の関係を理解している。 直方体や立方体の見取図を構成要素に着目して、正しくかくことができる。また、展開図を面と面の関係を考えながら、正しくかくことができる。 ものの位置の表し方について理解している。 (思・判・表) 立体図形の構成要素やそれらの位置関係に着目し、相違点や共通点に気づきながら、図形ごとの特徴を言葉や図などを用いて表現している。また、見取図や展開図のかき方を工夫して考えている。 空間にあるものの位置を決める表し方について、平面上の表し方から類推し考えている。 (主学) 身の回りの形を使ったり、形でものを作ったりした経験をもとに、直方体や立方体の特徴や性質を進んでとらえようとしている。また、生活の中でその性質がどのように生かされているかとらえ直そうとしている。</p>	<p>「直方体と立方体」 箱の形のとくちょうや作り方を調べよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●面の形をもとに、箱の形を仲間分けすることで、直方体や立方体を類別し、その定義を理解する。 ●直方体や立方体の構成要素として、面、辺、頂点があることを知り、その観点から性質を調べる。 ●直方体の箱を切り開いて広げる。 ●直方体の面や辺のつながり方を考える。 ●直方体ができるように展開図をかく。 ●立方体の展開図から完成図を予想したり、構成要素の関係を考えたりして、立方体の展開図をかく。 ●直方体と立方体の面と面の垂直・平行の関係を理解する。 ●直方体と立方体の辺と辺の垂直・平行の関係を理解する。 ●直方体の面と辺の垂直・平行の関係を理解する。 ●直方体と立方体の見取図を理解し、かき方を考える。 ●平面上にあるものの位置は、2つの数の組で表せることを理解する。 ●方眼上の位置の表し方を理解する。 ●空間の位置の表し方を理解する。

7	<p>(知及技) 伴って変わる2つの数量の関係を表や式、グラフに表して調べる方法を理解することができる。また、表や式、グラフに表すことができる。 数量関係を比べる場合に、割合を用いる場合があることを理解することができる。 (思判表力) 2つの数量の間にどんな関係があるか、表から対応のきまりを見いだしたり、グラフから、数量の変化の特徴を考えたりする力を養う。 (学・人) 2つの数量の関係を調べ、きまりを見つけたら、表、図、式を用いて、説明したりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 伴って変わる2つの数量の関係を考察して明確にするためには、対応する2つの値を表や式、グラフに表すと、数量の関係の特徴がわかりやすくなる。また、表や式、グラフに表し、きまりを読み取ることができる。 数量関係を比べる場合に、割合を用いる場合があることを理解している。 (思・判・表) 2つの数量の間に一定の関係があることを、表から対応のきまりを見いだしたり、□や△を用いた式に表したりして、数量の関係を考えている。また、グラフから、数量の変化の特徴を考え表現している。 (主学) 生活の中から、伴って変わる2つの数量の関係を進んで調べ、きまりを見つけようとしている。 また、表、図、式を用いて表し、数学的表現で説明しようとしている。</p>	<p>「ともなって変わる量」 2つの量の変わり方や関係を知らべよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●身の回りの事象から、1つの量が変わると、それに伴って変わる量があることに気づく。 ●伴って変わる2つの数量の関係を表と式に表し、関係を考える。 ●伴って変わる2つの数量の関係を表と式に表し、関係を考える。 ●段数と正方形の総数を関連づけて、その間にあるきまりを考える。 ●段数と総数の変化を調べて、きまりを一般化する。 ●変化の様子をグラフに表し、変化の様子を読み取る。
7	<p>(知及技) 目的に応じたデータを集めて、分類整理して表に表したり、読んだりすることができる。 また、複数系列のグラフや組み合わせたグラフについて、それを表したり、表したグラフから特徴を読み取ったりすることができる。 (思判表力) 目的に応じてデータを集めて分類整理する方法を考え、適切なグラフを選択し、特徴について判断したり考察したりする力を養う。 (学・人) 複数系列のグラフや組み合わせたグラフを用いることで、課題を解決したり、結果について考察できたりするよさに気づき、日常の身近な問題について関心をもち、調べようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 目的に応じたデータを集めて、分類整理して表に表したり、読んだりすることができる。 また、複数系列のグラフや組み合わせたグラフについて、それを正確に表したり、表したグラフから特徴を適切に読み取ったりすることができる。 (思・判・表) 目的に応じてデータを集めて分類整理する方法を考え、適切なグラフを選択し、特徴について判断したり考察したりしている。また、考察については、解決に十分つながっているか、ほかと比較するなど積極的に考えている。 (主学) より適切なグラフの作り方を考え、複数系列のグラフや組み合わせたグラフを用いることで、課題を解決したり、結果について考察できたりするよさに気づき、日常の身近な問題について積極的に調べようとしている。</p>	<p>「しりょうの活用」 くふうしたグラフを読み取ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●調べたいことについて考える。 ●目的に合ったデータを分類整理し、適切な表やグラフに表す。 ●特徴や傾向を話し合い、結論について考察する。 ●複合グラフについて知る。 ●2つの複合グラフから、読み取れる内容やデータの特徴について話し合う。
7	<p>(知及技) 既習の用語や定義、性質を理解することができる。 既習の計算や作図が適切にできる。 (思判表力) 既習の見方・考え方を確かめたり、その関係を考えたりする力を養う。 (学・人) 4年で学習したことに進んで取り組み、学習のまとめをしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 4年で学習した用語や定義、性質を理解し、わかりやすく説明できる。また、計算や作図が適切にできる。 (思・判・表) 4年の学習に関する見方や考え方を確かめたり、その関係を考えたり、活用したりしている。 (主学) 4年で学習したことに進んで取り組んだり見直したりして、学習のまとめをしようとしている。</p>	<p>「4年のまとめ」 4年のふく習をしよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●数と計算の問題を解き、既習事項の理解を深める。 ●図形の問題を解き、既習事項の理解を深める。 ●データ(表やグラフ)を読み取り、リサイクルの大切さを理解する。 ●変化と関係の問題を解き、既習事項の理解を深める。
留意点 引継ぎ等				

令和 5 年度 小学部 4 年 (I 課程) 理科 年間指導計画

単位数 / 配当回数	教科書 / 副教材等	担当者名
105	新しい理科 4 (東京書籍)	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力) 思考力、判断力、表現力等 (学・人) 学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表) 思考・判断・表現 (主学) 主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(1) 物質・エネルギー (知及技) 空気、水及び金属の性質、電流の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 空気、水及び金属の性質、電流の働きについて追究する中で、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力を養う。 (学・人) 空気、水及び金属の性質、電流の働きについて追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度を養う。</p> <p>(2) 生命・地球 (知及技) 人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星について追究する中で、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力を養う。 (学・人) 人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星について追究する中で、生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。</p>
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	6	<p>(知及技) (思判表力) (学・人) 動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらに関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べ、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生き物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>(知・技) ①動物の活動は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 ②植物の成長は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 ③身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (思・判・表) ①身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 ②身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ①身近な動物や植物についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	あたたかくなると	<ul style="list-style-type: none"> 春と早春の自然の様子の資料写真を見比べて、このごろの植物や動物の様子について、気づいたことや疑問に思ったことを話し合う。 ・ 1 年間の植物や動物の様子の変化について話し合い、観察計画を立てる。 このごろの植物 (木) の様子を観察して、記録する。 ・ ヘチマの種を観察して、記録する。 ・ ヘチマの種をまく。(観察 1) このごろの動物の活動の様子を観察して、記録する。(観察 2) これまでの記録を個人別とクラス全体やグループ別でまとめる。 ・ 植物や動物のこれからの変化について、これまでに学んだことや経験したことを基に予想し、話し合う。 ・ 資料を読んで、春の季節の特徴を捉える。
	6	<p>(知及技) (思判表力) (学・人) 骨や筋肉のつくりと動きに着目して、それらに関係付けて、人や他の動物の体のつくりと運動との関わりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生き物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>(知・技) ①人の体には骨と筋肉があることを理解している。 ②人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の動きによることを理解している。 ③人や他の動物の体のつくりと運動との関わりについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (思・判・表) ①人や他の動物の体のつくりと運動との関わりについて、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 ②人や他の動物の体のつくりと運動との関わりについて、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ①人や他の動物の体のつくりと運動との関わりについての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②人や他の動物の体のつくりと運動との関わりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	動物のからだのつくりと運動	<ul style="list-style-type: none"> 資料写真を見て、体の動かし方について気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、動物の体のつくりと動き方について調べる問題を見いだす。 ・ 腕のつくりと動き方について調べ、まとめる。(観察 1) あしの骨や筋肉のつくりと動き方について、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。 ・ 人の体の全身の骨や筋肉のつくりと動き方について調べ、人の体のつくりと動き方についてまとめる。(観察 2) 動物の体のつくりと動き方について予想する。 ・ 動物の体のつくりと動き方を人と比べながら調べる。(観察 3) 動物の体のつくりと動き方についてまとめる。 ・ 動物の体のつくりと動き方について、学んだことをまとめる。

<p>7</p>	<p>(知及技) (思判表力) (学・人) 天気と気温の変化に着目して、それらを関係付けて、1日の気温の変化を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>(知・技) ①天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解している。 ②天気の様子と気温との関係について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (思・判・表) ①天気の様子と気温との関係について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 ②天気の様子と気温との関係について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ①天気の様子と気温との関係についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②天気の様子と気温との関係について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	<p>天気と気温</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 晴れの日の朝と昼頃の資料写真を見比べて、子どもたちの様子について気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、天気と気温の変わり方について調べる問題を見いだす。 ・ 晴れの日の1日の気温の変化を調べる。(観察1) ・ 折れ線グラフのかき方を知り、観察結果をグラフにまとめる。 ・ 晴れの日の1日の気温の変化についてまとめる。 ・ 天気と1日の気温の変わり方について新たな問題を見いだす。 ・ 曇りや雨の日の1日の気温の変化について、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。 ・ 曇りや雨の日の1日の気温の変化について調べる。(観察2) ・ 曇りや雨の日の観察結果をグラフにまとめ、晴れの日のグラフと比較して1日の気温の変わり方について考え、天気による1日の気温の変化についてまとめる。 ・ 天気と気温について、学んだことをまとめる。
<p>7</p>	<p>(知及技) (思判表力) (学・人) 電流の大きさや向き、乾電池につないだ物の様子に着目して、それらを関係付けて、電流の動きを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>(知・技) ①乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。 ②電流の働きについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (思・判・表) ①電流の働きについて、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 ②電流の働きについて、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ①電流の働きについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②電流の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	<p>電流のはたらき</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乾電池とモーター、プロペラを使って車を作り、走らせてみて、気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、電流の働きについて調べる問題を見いだす。 ・ 乾電池の向きを変えて、モーターの回る向きを調べる。(実験1) ・ 乾電池の向きと、電流の向き、モーターの回る向きとの関係についてまとめる。 ・ 乾電池2個のつなぎ方を考えて、モーターが回る速さを調べる。(実験2) ・ 「直列つなぎ」と「並列つなぎ」という言葉を使って、乾電池2個のつなぎ方とモーターの回る速さとの関係をまとめる。 ・ 乾電池2個のつなぎ方によって、モーターが回る速さが違うのはなぜか、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。 ・ 乾電池2個を直列つなぎにしたときと並列つなぎにしたときの電流の大きさを調べる方法を考える。 ・ 乾電池の数やつなぎ方を変えて、モーターの回る速さと電流の大きさを調べる。(実験3) ・ 乾電池の数やつなぎ方と電流の働きについてまとめる。 ・ 電流の働きについて、学んだことをまとめる。
<p>7</p>	<p>(知及技) (思判表力) (学・人) 水の流れ方やしみ込み方に着目して、それらと地面の傾きや土の粒の大きさを関係付けて、雨水の行方と地面の様子を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>(知・技) ①水は、高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解している。 ②水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解している。 ③雨水の行方と地面の様子について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (思・判・表) ①雨水の行方と地面の様子について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 ②雨水の行方と地面の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ①雨水の行方と地面の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②雨水の行方と地面の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	<p>雨水のゆくえと地面のようす</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨の日の校庭の様子を観察し、水たまりの様子について気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、雨水の流れ方について調べる問題を見いだす。 ・ 雨水はどこからどこへ流れてどのような所に集まるかについて、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。 ・ 雨水が流れていた所の地面の傾きや、水たまりとその周りの地面の傾きを調べる。(観察1) ・ 雨水の流れ方と集まり方についてまとめる。 ・ 資料を読んで、雨水による災害を防ぐ取り組みについて捉える。 ・ 雨が降った後の校庭と砂場の地面の様子を比べて、調べる問題を見いだす。 ・ 土や砂の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて予想する。 ・ 土や砂の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いを調べる。(実験1) ・ 水のしみ込み方についてまとめる。 ・ 雨水の行方と地面の様子について、学んだことをまとめる。

6	<p>(知及技)</p> <p>(思判表力)</p> <p>(学・人)</p> <p>動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらに関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生き物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>(知・技)</p> <p>①動物の活動は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。</p> <p>②植物の成長は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。</p> <p>③身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>①身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>②身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>(主学)</p> <p>①身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>②身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	暑くなる	<ul style="list-style-type: none"> ・夏と春の自然の様子の資料写真を見比べて、このごろの自然の様子について気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、植物や動物の様子の変わり方について問題を見いだす。 ・サクラやハチマなどの成長の様子を観察して、記録する。(観察1) ・このごろの動物の活動の様子を観察して、記録する。(観察2) ・これまでの記録を基に、ハチマなどの成長と気温の変化をグラフなどにまとめ、育ち方と気温との関係を考える。 ・これまでに観察してきた植物や動物のこれからの変化について、これまでに学んだことや経験したことを基に予想して、話し合う。 ・資料を読んで、夏の季節の特徴を捉える。
7	<p>(知及技)</p> <p>(思判表力)</p> <p>(学・人)</p> <p>月や星の位置の変化や時間の経過に着目して、それらに関係付けて、月や星の特徴を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>(知・技)</p> <p>①月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。</p> <p>②空には、明るさや色の違う星があることを理解している。</p> <p>③星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。</p> <p>④月や星の特徴について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>①月や星の特徴について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>②月や星の特徴について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>(主学)</p> <p>①月や星についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>②月や星について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	月や星の見え方	<ul style="list-style-type: none"> ・昼間に見える月を観察したり資料写真を見たりして、気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、月の見える位置の変わり方について問題を見いだす。 ・月の見える位置は、時刻によってどのように変わっていくのか、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。 ・月の見える位置の変わり方を調べる方法を考える。 ・半月の見える位置や数日後に見られる満月の見える位置を観察して、記録する。(観察は課外)(観察1) ・月の形や月の見える位置の変化についてまとめる。 ・星の見える位置や星の並び方について予想する。 ・星の見える位置の変わり方を調べる方法を考える。 ・夜間に星の見える位置と並び方を観察する。(観察は課外)(観察2) ・星や星座は時間が経つと、見える位置は変わるが、並び方は変わらないことをまとめる。 ・資料を読んで、各方位の星の位置の変わり方を捉える。 ・月や星の見え方について、学んだことをまとめる。
7	<p>(知及技)</p> <p>(思判表力)</p> <p>(学・人)</p> <p>水の行方に着目して、それらと水の状態変化とを関係付けて、自然界の水の様子を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>(知・技)</p> <p>①水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくこと、また、空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあることを理解している。</p> <p>②自然界の水の様子について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>①自然界の水の様子について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>②自然界の水の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>(主学)</p> <p>①自然界の水の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>②自然界の水の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	自然のなかの水のすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・干す前のタオルと干した後のタオルの重さについて、気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、自然の中での水の行方について問題を見いだす。 ・入れ物に入れた水が空気中に出ていくか調べる。(実験1) ・水は自然に蒸発して、空気中に出ていくことをまとめる。 ・蒸発した水は再び目に見えるすがたに戻るのかについて、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。 ・蒸発した水は再び目に見えるすがたに戻るのか調べる。(観察1) ・空気中の水蒸気は、冷やされて水に戻ることをまとめる。 ・いろいろな場所で、空気中に水蒸気があるか調べる。 ・自然の中の水のすがたについて、学んだことをまとめる。

7	<p>(知及技)</p> <p>(思判表力)</p> <p>(学・人)</p> <p>動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらに関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生き物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>(知・技)</p> <p>①動物の活動は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。</p> <p>②植物の成長は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。</p> <p>③身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>①身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>②身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>(主学)</p> <p>①身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>②身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	<p>すずしくなると</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・秋と夏の自然の様子の資料写真を見比べて、このごろの植物や動物の様子について話し合う。 ・サクラやヘチマなどの成長の様子を観察して、記録する。(観察1) ・このごろの動物の活動の様子を観察して、記録する。(観察2) ・これまでの記録を整理して、植物や動物の様子と気温との関係を考える。 ・これまでに観察してきた植物や動物のこれからの変化を予想して、話し合う。 ・資料を読んで、秋の季節の特徴を捉える。
8	<p>(知及技)</p> <p>(思判表力)</p> <p>(学・人)</p> <p>体積やおし返す力の変化に着目して、それらとおす力とを関係付けて、空気と水の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>(知・技)</p> <p>①閉じ込めた空気をおすと、体積は小さくなるが、おし返す力は大きくなることを理解している。</p> <p>②閉じ込めた空気はおし縮められるが、水はおし縮められないことを理解している。</p> <p>③空気と水の体積やおし返す力の変化とおす力との関係について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>①空気と水の体積やおし返す力の変化とおす力との関係について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>②空気と水の体積やおし返す力の変化とおす力との関係について、実験などを行い、得られた結果</p> <p>(主学)</p> <p>①空気と水の体積やおし返す力の変化とおす力との関係についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>②空気と水の体積やおし返す力の変化とおす力との関係について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	<p>とじこめた空気 と水</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックの筒に詰めた玉を飛ばし、玉の飛び方について気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、閉じ込めた空気の様子について問題を見いだす。 ・閉じ込めた空気をおすと空気はどうなるのかについて、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。 ・注射器に閉じ込めた空気をおして、体積や手応えを調べる。(実験1) ・閉じ込めた空気をおしたときの体積や手応えをまとめる。 ・閉じ込めた水をおすと水はどうなるのかについて、これまでに学んだことや経験を基に予想する。 ・注射器に閉じ込めた水をおして、体積の変化を調べる。(実験2) ・空気と水の性質の違いをまとめる。 ・おしたときの空気や水の性質について、学んだことをまとめる。
8	<p>(知及技)</p> <p>(思判表力)</p> <p>(学・人)</p> <p>金属、水及び空気をあたためたり、冷やしたりしたときの体積の変化に着目して、それらと温度の変化とを関係付けて、金属、水及び空気の温度変化に伴う体積の変化を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>(知・技)</p> <p>①金属、水及び空気は、あたためたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあることを理解している。</p> <p>②金属、水及び空気の体積と温度との関係について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>①金属、水及び空気の体積と温度との関係について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>②金属、水及び空気の体積と温度との関係について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>(主学)</p> <p>①金属、水及び空気の体積と温度との関係についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>②金属、水及び空気の体積と温度との関係について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	<p>物の体積と温度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・試験管の口にせっけん水の膜を張って試験管を持ったときの、せっけん水の膜の様子について、気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、空気の体積と温度について問題を見いだす。 ・空気を温めたり冷やしたりして、体積の変化を調べる。(実験1) ・温度による空気の体積変化についてまとめる。 ・水をあたためたり冷やしたりして、体積の変化を調べる。(実験2) ・温度による水の体積変化を空気のとときと比較しながらまとめる。 ・金属はあたためられたり冷やされたりすると体積が変わるのかについて、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。 ・金属を熱したり冷やしたりして、体積の変化を調べる。(実験3) ・温度による金属の体積変化を空気や水のとときと比較しながらまとめる。 ・温度による物の体積変化について、学んだことをまとめる。

8	<p>(知及技)</p> <p>(思判表力)</p> <p>(学・人)</p> <p>金属、水及び空気を熱したときの熱の伝わり方に着目して、それらと温度の変化とを関係付けて、金属、水及び空気のあたためり方を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>(知・技)</p> <p>①金属は熱せられた部分から順にあたたまりますが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体があたまることを理解している。</p> <p>②金属、水及び空気のあたためり方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>①金属、水及び空気のあたためり方について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>②金属、水及び空気のあたためり方について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>(主学)</p> <p>①金属、水及び空気のあたためり方についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>②金属、水及び空気のあたためり方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	物のあたためり方	<ul style="list-style-type: none"> ・金属のスプーンを熱い湯につけて、スプーンの端の方を触れたときに、気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、金属のあたためり方について問題を見いだす。 ・金属はどのようにあたためていくのか予想し、調べる。(実験1) ・金属のあたためり方をまとめる。 ・空気はどのようにあたためていくのか調べる。(実験2) ・空気のあたためり方をまとめる。 ・水はどのようにあたためていくのかについて、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。 ・水のあたためり方やあたためた水が動くかどうかを調べる方法を考える。 ・水の一部を熱して、水のあたためり方と動き方を調べる。(実験3) ・水のあたためり方をまとめる。 ・資料を読んで、冷やされた空気や水の動き方を捉える。 ・物のあたためり方について、学んだことをまとめる。
7	<p>(知及技)</p> <p>(思判表力)</p> <p>(学・人)</p> <p>動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらと関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生き物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>(知・技)</p> <p>①動物の活動は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。</p> <p>②植物の成長は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。</p> <p>③身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>①身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>②身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>(主学)</p> <p>①身近な動物や植物についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>②身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	寒くなると	<ul style="list-style-type: none"> ・冬と秋の自然の様子や資料写真を見比べて、このごろの植物や動物の様子について話し合う。 ・このごろの植物や動物の様子を観察して、記録する。(観察1) ・寒い頃のサクラの枝先の様子や枯れたヘチマの様子との違いを基に、サクラとヘチマの冬越しの仕方について考え、まとめる。 ・これまでに観察してきた植物や動物のこれからの変化について、これまでに学んだことや経験したことを基に予想して、話し合う。 ・資料を読んで、冬の季節の特徴を捉える。 ・寒い頃のサクラの枝先の様子や枯れたヘチマの様子との違いを基に、サクラとヘチマの冬越しの仕方について考え、まとめる。 ・これまでに観察してきた植物や動物のこれからの変化について、これまでに学んだことや経験したことを基に予想して、話し合う。 ・資料を読んで、冬の季節の特徴を捉える。
3 学期 7	<p>(知及技)</p> <p>(思判表力)</p> <p>(学・人)</p> <p>水の状態に着目して、温度の変化と関係付けて、水の状態の変化を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>(知・技)</p> <p>①水は、温度によって水蒸気や氷に変わること、また、水が氷になると体積が増えることを理解している。</p> <p>②温度を変化させたときの水の体積や状態の変化について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>①温度を変化させたときの水の体積や状態の変化について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>②温度を変化させたときの水の体積や状態の変化について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>(主学)</p> <p>①温度を変化させたときの水の体積や状態の変化についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>②温度を変化させたときの水の体積や状態の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	水のすがたと温度	<ul style="list-style-type: none"> ・水のでき方について、気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、水を冷やしたときの水のすがたの変わり方について問題を見いだす。 ・水を冷やしたときの様子や温度と体積の変化を調べ、表やグラフに整理する。(実験1) ・冷やしたときの水の様子や温度の変化についてまとめる。 ・水を熱したときの様子について知っていることや資料写真を見て、気づいたことを話し合う。 ・水を熱したときの水の温度や様子を予想する。 ・水を熱したときの水の温度や様子を調べる方法を考える。 ・水を熱したときの様子や温度の変化を調べ、表やグラフに整理する。(実験2) ・熱したときの水の様子や温度の変化についてまとめる。 ・熱した後にビーカーの中の水が減っていた理由について、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。 ・熱した後にビーカーの中の水が減っている理由を調べる方法を考える。 ・水を熱して、湯気や泡の正体について調べる。(実験3) ・水を熱したときの変化をまとめる。 ・水の3つのすがたについてまとめる。 ・温度による水のすがたの変化について、学んだことをまとめる。

7	<p>(知及技)</p> <p>(思判表力)</p> <p>(学・人)</p> <p>動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生き物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>(知・技)</p> <p>①動物の活動は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。</p> <p>②植物の成長は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。</p> <p>③身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>①身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>②身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>(主学)</p> <p>①身近な動物や植物についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>②身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	<p>生き物の1年をふり返って</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早春と冬の自然の様子の資料写真を見比べて、このごろの植物や動物の様子について話し合う。 ・このごろの植物や動物の様子を観察して、記録する。(観察1) ・1年間の観察記録を整理して、植物や動物の様子と気温との関係についてまとめ、発表する。 ・あたたかさで生き物の様子の変化について、学んだことをまとめる。
<p>留意点 引継ぎ等</p>				

令和 5年度 小学部 4年 (I 課程) 音楽科 年間指導計画

単位数 / 相当時数	教科書 / 副教材等	担当者名
35	小学生の音楽 4 (教育芸術出版)	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 (学・人) 進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) 旋律、音の重なり方の違い、音階や調などと曲想との関わりについて気付き、八長調の楽譜を見て演奏するなど、表したい音楽表現をするために必要な表現の技能を身に付ける。 (思判表力) 八長調の読譜や自然で無理のない歌い方を習得したり活用したりしながら、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、二重唱の演奏のよさや曲の面白さを見いだしながら聴いたりする。 (学・人) 歌声による表現や旋律が重なり合う響きのよさを感じ取りながら、友達と協働して表現したり聴いたりする学習に進んで取り組む。	(知・技) 旋律、音の重なり方の違い、音階や調などと曲想との関わりについて気付き、八長調の楽譜を見て演奏するなど、表したい音楽表現をするために必要な表現の技能を身に付けている。 (思・判・表) 八長調の読譜や自然で無理のない歌い方を習得したり活用したりしながら、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、二重唱の演奏のよさや曲の面白さを見いだしながら聴いたりしている。 (主学) 歌声による表現や旋律が重なり合う響きのよさを感じ取りながら、友達と協働して表現したり聴いたりする学習に進んで取り組もうとしている。	歌のにし せんりつづくり	・ 旋律の特徴を感じ取りながら主な旋律を歌う。 ・ 旋律の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うか思いをもつ。 ・ 副次的な旋律を演奏する。 ・ 主な旋律と副次的な旋律を合わせて演奏する。 ・ 音の選び方を工夫して、「せんりつづくり」をする。 ・ 歌とリコーダーの旋律の重なり合う響きを感じ取りながら演奏する
	7	(知及技) 拍子やリズムなどと曲想との関わりについて気付き、拍ののって歌ったり演奏したりする技能や、反復や変化などの音楽の仕組みを用いてリズムアンサンブルをつくる技能を身に付ける。 (思判表力) 曲の特徴を捉えた表現や、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて、思いや意図をもつ。 (学・人) 拍子やリズムが生み出すよさや面白さを感じ取り、それらを生かして表現したり、友達と協働してリズムアンサンブルをつくりたりする学習に進んで取り組む。	(知・技) 拍子やリズムなどと曲想との関わりについて気付き、拍ののって歌ったり演奏したりする技能や、反復や変化などの音楽の仕組みを用いてリズムアンサンブルをつくる技能を身に付けている。 (思・判・表) 曲の特徴を捉えた表現や、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて、思いや意図をもっている。 (主学) 拍子やリズムが生み出すよさや面白さを感じ取り、それらを生かして表現したり、友達と協働してリズムアンサンブルをつくりたりする学習に進んで取り組もうとしている。	グラッピングファンタ ジー第7番 楽しい マーチ	・ 反復や呼びかけとこたえのリズムの面白さを感じ取りながら手拍子のリズムを演奏する。 ・ 友達と音を合わせながら、手拍子のリズムと鍵盤ハーモニカの旋律を合わせて演奏する。
2 学期	5	(知及技) 弾んだ感じや滑らかな感じ、音の上がり下がりなどの旋律の特徴と曲想との関わりについて気付き、それらを生かすために必要なタンギングや息の使い方、呼吸や発音などの技能を身に付ける。 (思判表力) 旋律の特徴などと曲想との関わりについて考え、それらに合った表現の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (学・人) 旋律の特徴を生かした表現を工夫し、友達と協働して演奏したり聴いたりする学習に進んで取り組む。	(知・技) 弾んだ感じや滑らかな感じ、音の上がり下がりなどの旋律の特徴と曲想との関わりについて気付き、それらを生かすために必要なタンギングや息の使い方、呼吸や発音などの技能を身に付けている。 (思・判・表) 旋律の特徴などと曲想との関わりについて考え、それらに合った表現の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりしている。 (主学) 旋律の特徴を生かした表現を工夫し、友達と協働して演奏したり聴いたりする学習に進んで取り組もうとしている。	とんび	・ 歌詞の表す情景を想像しながら歌い、旋律の特徴に気付く。 ・ 旋律の音の動きに合う強弱を工夫して歌う。 ・ 歌詞の内容や旋律の特徴に合う強弱を工夫して歌う。
	5	(知及技) 旋律の特徴や重なりなどと曲想との関わりについて気付き、それらを生かして歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。 (思判表力) 旋律の特徴や重なり方による曲の特徴を捉えた表現について思いや意図をもったり、旋律の重なり、反復や変化が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら聴いたりする。 (学・人) 友達と一緒に声や音を合わせて表現を工夫したり、旋律が重なり合う面白さを感じて聴いたりする学習を通して、旋律の重なりが生み出すよさや面白さ、美しさを味わう。	(知・技) 旋律の特徴や重なりなどと曲想との関わりについて気付き、それらを生かして歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。 (思・判・表) 旋律の特徴や重なり方による曲の特徴を捉えた表現について思いや意図をもったり、旋律の重なり、反復や変化が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら聴いたりしている。 (主学) 友達と一緒に声や音を合わせて表現を工夫したり、旋律が重なり合う面白さを感じて聴いたりする学習を通して、旋律の重なりが生み出すよさや面白さ、美しさを味わおうとしている。	もみじ	・ 歌詞の表す情景を想像し、主な旋律と副次的な旋律を歌う。 ・ 旋律の重なり方の特徴に気付く。 ・ 各グループの演奏を聴き合い、よりよい二部合唱になるように表現を工夫する。

	<p>(知及技)楽器の音色や旋律の特徴などと曲想との関わりについて気付き、楽器の組合せや音の重なり方を生かし音楽をつくる技能や、音色や各パートの音のバランスに気を付けて演奏する技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力)楽器の音色や旋律の特徴が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら味わって聴いたり、楽器の音色を生かした演奏の仕方や、音楽の縦と横との関係などの音楽の仕組みを用いた音楽の作り方について、思いや意図をもったりする。</p> <p>(学・人)楽器の組み合わせ方や重ね方を工夫して音楽をつくったり、音色やパートの重なりを生かして互いの音を聴き合って演奏したり、音色や旋律の特徴による曲や演奏のよさなどを感じ取りながら聴いたりする学習に進んで取り組む。</p>	<p>(知・技)楽器の音色や旋律の特徴などと曲想との関わりについて気付き、楽器の組合せや音の重なり方を生かし音楽をつくる技能や、音色や各パートの音のバランスに気を付けて演奏する技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表)楽器の音色や旋律の特徴が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら味わって聴いたり、楽器の音色を生かした演奏の仕方や、音楽の縦と横との関係などの音楽の仕組みを用いた音楽の作り方について、思いや意図をもったりしている。</p> <p>(主学)楽器の組み合わせ方や重ね方を工夫して音楽をつくったり、音色やパートの重なりを生かして互いの音を聴き合って演奏したり、音色や旋律の特徴による曲や演奏のよさなどを感じ取りながら聴いたりする学習に進んで取り組もうとしている。</p>	打楽器の音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音の様子を図形で表したカードを使い、音の出し方を工夫する。 打楽器の音の組合せ、音の重ね方、反復などを生かして、三人一組で音楽をつくる。 「始め」「中」「終わり」の音楽の構成を意識して、まとまりのある音楽をつくる。
3 学期	<p>(知及技)楽器の音色や旋律の特徴などと曲想との関わりについて気付き、楽器の組合せや音の重なり方を生かし音楽をつくる技能や、音色や各パートの音のバランスに気を付けて演奏する技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力)楽器の音色や旋律の特徴が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら味わって聴いたり、楽器の音色を生かした演奏の仕方や、音楽の縦と横との関係などの音楽の仕組みを用いた音楽の作り方について、思いや意図をもったりする。</p> <p>(学・人)楽器の組み合わせ方や重ね方を工夫して音楽をつくったり、音色やパートの重なりを生かして互いの音を聴き合って演奏したり、音色や旋律の特徴による曲や演奏のよさなどを感じ取りながら聴いたりする学習に進んで取り組む。</p>	<p>(知・技)楽器の音色や旋律の特徴などと曲想との関わりについて気付き、楽器の組合せや音の重なり方を生かし音楽をつくる技能や、音色や各パートの音のバランスに気を付けて演奏する技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表)楽器の音色や旋律の特徴が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら味わって聴いたり、楽器の音色を生かした演奏の仕方や、音楽の縦と横との関係などの音楽の仕組みを用いた音楽の作り方について、思いや意図をもったりしている。</p> <p>(主学)楽器の組み合わせ方や重ね方を工夫して音楽をつくったり、音色やパートの重なりを生かして互いの音を聴き合って演奏したり、音色や旋律の特徴による曲や演奏のよさなどを感じ取りながら聴いたりする学習に進んで取り組もうとしている。</p>	茶色の小びん	<ul style="list-style-type: none"> 拍ののって主な旋律を演奏する。 パートの特徴を知り、音色に気を付けて合奏する。 各パートの音量のバランスや響きに気を付けて演奏する。
2	<p>(知及技)日本の楽器の音色、旋律、音階などと曲想との関わりについて気付き、音色や響きに気を付けて楽器を演奏する技能や、五音音階から音を選んでまとまりのある旋律をつくる技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力)日本の楽器の音色や音楽の特徴が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら聴いたり、音色を生かした演奏の仕方や、旋律の音の動きや反復を生かしてどのようにまとまりを意識した旋律をつくるかについて、思いや意図をもったりする。</p> <p>(学・人)日本の楽器の音楽を聴いたり演奏したり、友達と協働して旋律をつくったりする学習を通して、日本の楽器の音や音楽への興味・関心を高める。</p>	<p>(知・技)日本の楽器の音色、旋律、音階などと曲想との関わりについて気付き、音色や響きに気を付けて楽器を演奏する技能や、五音音階から音を選んでまとまりのある旋律をつくる技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表)日本の楽器の音色や音楽の特徴が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら聴いたり、音色を生かした演奏の仕方や、旋律の音の動きや反復を生かしてどのようにまとまりを意識した旋律をつくるかについて、思いや意図をもったりしている。</p> <p>(主学)日本の楽器の音楽を聴いたり演奏したり、友達と協働して旋律をつくったりする学習を通して、日本の楽器の音や音楽への興味・関心を高めようとしている。</p>	こと独奏による主題と6つの変奏「さくら」 津軽じょんから節/ていんさぐぬ花	<ul style="list-style-type: none"> 箏の音色の特徴を感じ取って聴く。 三味線と三線の音色の特徴を感じ取って聴く。
留意点 引継ぎ等				

令和 5年度 小学部 4年（I課程） 図画工作科 年間指導計画

単位数 / 配当時数	教科書／副教材等	担当者名
70	図画工作 3・4下（日本文教出版）	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。 (思判表力)造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (学・人)進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	16	(知及技) ・水彩絵の具を使っていろいろな表し方を試して模様の紙をつくったり、それらを使って表したりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどが分かる。 ・歯ブラシや網、ストローなどを適切に扱うとともに、水彩絵の具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 (思判表力) ・水彩絵の具で試して感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 ・形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。 (学・人) 進んで水彩絵の具で、いろいろな表し方を試して、模様の紙をつくって表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) ・水彩絵の具を使っていろいろな表し方を試して模様の紙をつくったり、それらを使って表したりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどが分かっている。 ・歯ブラシや網、ストローなどを適切に扱うとともに、水彩絵の具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 (思・判・表)形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、水彩絵の具で試して感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。 (主学)つくりだす喜びを味わい進んで水彩絵の具で、いろいろな表し方を試して、模様の紙をつくって表す学習活動に取り組もうとしている。	絵の具でゆめもよう 【絵に表す】	○用具を使うことでいろいろな表し方ができることを知る。 ○試したり、技法を組み合わせたリしながら、いろいろな模様の紙をつくる。 ○模様を生かしながら、切ったり貼ったりして絵に表す。 ○作品を見ながら、模様の使い方や作品のよさや面白さを味わう。
	10	(知及技)指で絵の具を混ぜるときの感覚や行為を通して、色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。 (思判表力) ・徐々に変化する色の様子などの造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ・色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。 (学・人) 進んで指で絵の具を混ぜながら、色や形の組合せや、変わっていく様子の面白さを味わう学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技)指で絵の具を混ぜるときの感覚や行為を通して、色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。 (思・判・表)色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、徐々に変化する色の様子などの造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 (主学)つくりだす喜びを味わい進んで指で絵の具を混ぜながら、色や形の組合せや、変わっていく様子の面白さを味わう学習活動に取り組もうとしている。	色合いひびき合い 【鑑賞する】	○小さな紙に絵の具を取って、混ぜる。 ○混ぜていく色や形の変化を味わう。 ○絵の具や水の量、いろいろな混ぜ方を試し、その違いを感じ取る。 ○色を混ぜた紙を並べて、その違いやよさや面白さを話し合う。
	10	(知及技) ・自分やみんなの元気が出るような形を紙粘土で表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。 ・紙粘土や水彩絵の具を適切に扱うとともに、粘土べらなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 (思判表力) ・元気だと感じたことや元気が出る様子を想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 ・形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。 (学・人) 進んで自分やみんなの元気が出るような形を紙粘土で表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) ・自分やみんなの元気が出るような形を紙粘土で表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。 ・紙粘土や水彩絵の具を適切に扱うとともに、粘土べらなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 (思・判・表)形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、元気だと感じたことや元気が出る様子を想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。 (主学)つくりだす喜びを味わい進んで自分やみんなの元気が出るような形を紙粘土で表す学習活動に取り組もうとしている。	元気のおまもり 【立体に表す】	○元気なときや、元気がないときについて話し合う。 ○話し合ったことから、自分やみんなの元気が出るような形や色を考える。 ○紙粘土でつくった形や色を組み合わせながら、「元気のおまもり」を立体に表す。 ○作品を見ながら、考えたことやこだわりを伝え合う。

2 学 期	<p>10</p> <p>(知及技) ・気持ちを伝えるカードを、飛び出す仕組みを使ってつくるとき感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。 ・カッターナイフ、色画用紙などを適切に扱うとともに切る用具や接着剤などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 (思判表力) ・仕組みを動かして感じたことや、伝えたいことから、表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 ・形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。 (学・人) 進んで気持ちを伝えるカードを、飛び出す仕組みを使ってつくる学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>	<p>(知・技) ・気持ちを伝えるカードを、飛び出す仕組みを使ってつくるとき感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。 ・カッターナイフ、色画用紙などを適切に扱うとともに切る用具や接着剤などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 (思・判・表)形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、仕組みを動かして感じたことや、伝えたいことから、表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。 (主学)つくりだす喜びを味わい進んで気持ちを伝えるカードを、飛び出す仕組みを使ってつくる学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>カードで伝える気持ち【工作に表す】</p>	<p>○教科書などを見て飛び出す仕組みを知り、つくる。 ○仕組みを動かしたり、伝えたい相手や伝えたいことを考えたりしながら表したいことを考える。 ○気持ちが伝わるように材料や用具の使い方を工夫する。 ○できたカードを相手に渡してよさや工夫を感じ取る。</p>
10	<p>(知及技) ・材料を組み合わせた時、光の当て方を試したりしながら影の形をつくる時の感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。 ・光源となるライトや身近な材料を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせるなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。 (思判表力) ・身近な材料や影の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考える。 ・形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。 (学・人) 進んで材料の組合せ方や光の当て方を試しながら、面白い影の形をつくる学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>	<p>(知・技) ・材料を組み合わせた時、光の当て方を試したりしながら影の形をつくる時の感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。 ・光源となるライトや身近な材料を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせるなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくりだしている。 (思・判・表)形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、身近な材料や影の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。 (主学)つくりだす喜びを味わい進んで材料の組合せ方や光の当て方を試しながら、面白い影の形をつくる学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>光とかけから生まれる影【造形遊びをする】</p>	<p>○影を投影すると面白いと思う材料を持ち寄り、影をつくりながらどのようなことができそうか考える。 ○できる影の形を確かめながら、材料を組み合わせて活動を工夫する。 ○自分のつくった影を発表し合い、表現のよさや面白さを味わう。</p>
3 学 期	<p>7</p> <p>(知及技) ・木の材料を組み合わせて、ひみつのすみかを表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。 ・のこぎり、金づち、釘、木の材料を適切に扱うとともに、木工用接着剤などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 (思判表力) ・木の材料に触れて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 ・形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。 (学・人) 進んで木の材料を組み合わせて、ひみつのすみかを表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>	<p>(知・技) ・木の材料を組み合わせて、ひみつのすみかを表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。 ・のこぎり、金づち、釘、木の材料を適切に扱うとともに、木工用接着剤などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 (思・判・表)形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、木の材料に触れて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。 (主学)つくりだす喜びを味わい進んで木の材料を組み合わせて、ひみつのすみかを表す学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>ひみつのすみか【立体に表す】</p>	<p>○木の材料に触れながら、感触やにおいを感じる。 ○材料を組み合わせた時、切ったりつないだりしながら、表したい「すみか」を考える。 ○いろいろな材料を組み合わせるなどして、表現を深める。 ○作品を見ながら、よさや面白さを感じ取る。</p>

<p>期</p> <p>7</p>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活の中で忘れられないことやそのときの気持ちを表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。 ・水彩絵の具を適切に扱うとともに、クレヨン・パス、ペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で感じたこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 ・形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。 <p>(学・人)</p> <p>進んで毎日の生活の中で忘れられないことやそのときの気持ちを、形や色の感じを生かして絵に表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活の中で忘れられないことやそのときの気持ちを表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。 ・水彩絵の具を適切に扱うとともに、クレヨン・パス、ペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 <p>(思・判・表)形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、生活の中で感じたこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>(主学)つくりだす喜びを味わい進んで毎日の生活の中で忘れられないことやそのときの気持ちを、形や色の感じを生かして絵に表す学習活動に取り組みようとしている。</p>	<p>わすれられない気持ち【絵に表す】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の心に残っていることから、表したいことを考える。 ○そのときの気持ちが表れるように、材料や用具の使い方を工夫しながら表す。 ○作品を見ながら、表したかったことやそのときの気持ちについて伝え合う。
<p>留意点 引継ぎ等</p>				

令和 5年度 小学部 4年（I課程） 保健体育科 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
35	小学ほけん 3・4年（光文書院）	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 (思判表力)自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。 (学・人)各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達のを考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	7	(知及技) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりすることができる。 ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができる。 イ 多様な動きをつくる運動では、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをし、それらを組み合わせることができる。 (思判表力)自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 (学・人)運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達のを考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。	【体ほぐしの運動】 (知・技) ・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうを通して、自己や友達の間と体の状態に気付いたり、みんなで豊かに関わり合ったりすることができる。 (思・判・表) ・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。 (主学) ・体ほぐしの運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 【多様な動きをつくる運動】 (知・技)多様な動きをつくる運動の行い方がわかる。 (思・判・表) ・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。 (主学) ・多様な動きをつくる運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。	体づくり運動 ・体ほぐしの運動 ・多様な動きをつくる運動	○伸び伸びとした動作 ・風船遊び ・音楽に合わせて動く ・ストレッチ など ○体のバランスをとる運動 ・片足立ち ・しゃがんで押し相撲 など ○体を移動する運動 ・コースを作って色々な動きで移動 ・スキップ ○用具を使った運動 ・連続フープくぐり ・ドリブル など ○力試しの運動 ・おしくらまんじゅう ・引っ張り合い など ○基本的な動きを組み合わせる運動
		(知及技) 水面での手足の動かし方を知るとともに、その動きを身に付けることができる。 (思判表力) 自己の能力に適した課題を見付け、実践するとともに、友達の良い動きを見付け伝えることができる。 (学・人) 運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達のを考えを認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を付けたりすることができる。	(知・技) 水面で手足の動かし方がわかる。 (思・判・表) 自分で試したいことを考えて実践したり、友達の良い動きを見付け、言葉や動作で伝えている。 (主学) ・水泳運動に進んで取り組んでいる。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・準備運動や整理運動を正しく行い、水泳運動の心得を守って安全を確かめている。	水泳運動	・プールサイドより手足のみを水につけて心地よさを感じたり、水しぶきをあげたり、宝探しをしたりする。

	<p>(知及技) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けることができる。 ア かけっこ・リレーでは、調子よく走ったりバトンの受渡しをしたりすることができる。 (思判表力) 自己の能力に適した課題を見付け、動きを身に付けるための活動や競争の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 (学・人) 運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気をつけたりすることができる。</p>	<p>(知・技) ・かけっこ・リレーの行い方がわかる。 ・スタート姿勢から素早く走り出すことができる。 ・真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走ることができる。 ・走りながら、タイミングよくバトンの受渡しができる。 ・コーナーの内側に体を軽く傾けて走ることができる。 ・最後まで全力で走ることができる。 (思・判・表) ・かけっこやリレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・かけっこやリレーのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、速く走るための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 (主学) ・かけっこ・リレーに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。</p>	走・跳の運動	<ul style="list-style-type: none"> ・30～50m程度のかけっこ ・周回リレー
6	<p>(知及技) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、表したい感じを表現したりリズムに乗ったりして踊ることができる。 イ リズムダンスでは、軽快なリズムに乗って全身で踊ることができる。 (思判表力) 自己の能力に適した課題を見付け、題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 (学・人) 運動に進んで取り組み、誰とも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすることができる。</p>	<p>(知・技) ・リズムダンスの行い方がわかる。 ・リズムの特徴を捉えた動きや変化をつけた動きで踊ることができる。 (思・判・表) ・動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 (主学) ・リズムダンスに進んで取り組んでいる。 ・リズムダンスに取り組む際に、誰とも仲よくしている。</p>	表現運動	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムダンス（運動会の演技）
6	<p>(知及技) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、易しいゲームをすることができる。 ウ バースボール型ゲームでは、蹴る、打つ、捕る、投げるなどのボール操作と得点をとったり防いだりする動きによって、易しいゲームをすること (思判表力) 規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 (学・人) 運動に進んで取り組み、規則を守り誰とも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。</p>	<p>(知・技) ・ポッチャやTベースボールの行い方がわかる。 (思・判・表) ・簡単な作戦を話し合っ決めてたり、選んだりしている。 (主学) ・ポッチャやTベースボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。</p>	ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ポッチャ ・Tベースボール
3	<p>(知及技)体は、年齢とともに発育し、変化すること、発育には個人差があることを理解できるようにする。 (思判表力)体の発育の仕方には個人差があることを、表やグラフなどの資料から読み取り、説明できるようにする。 (学・人)これまでとこれからの、自分たちの体の変化の仕方や個人差について関心を持ち、肯定的に捉えることができるようにする。</p>	<p>(知・技)体は年齢とともに発育し変化すること、発育には個人差があることを理解している。 (思・判・表)体の発育のしかたには個人差があることを、グラフなどの資料から読み取り、説明している。 (主学)これまでとこれからの、自分たちの体の変化のしかたについて関心を持ち、個人差があることも含めて肯定的に捉えようとしている。</p>	保健	<p>○変化していく体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身長の変化をみる ・小さい頃と今の自分を比べる ・身長の伸び方には違いがあることを知る

3 学 期	3	(知及技)思春期には体つきの変化や発毛など、体に変化が現れること、それらには男女差、個人差があることを理解できるようにする。 (思判表力)思春期に現れる男女の体の変化について、資料を参考にしながら、個人差があることを説明できるようにする。 (学・人)思春期の体の変化に関心をもち、意欲的に調べたり考えたりして、変化することや個人差があることを肯定的に捉えることができるようにする。	(知・技)思春期には体つきの変化や発毛など、体に変化が現れること、それらには男女差や個人差があることを理解している。 (思・判・表)思春期に現れる男女の体の変化について、資料を参考にしながら、個人差があることを説明している。 (主学)思春期の体の変化について、意欲的に調べたり考えたりして、変化することや個人差があることを肯定的に捉えようとしている。	○思春期の体の変化① ～体の外にあらわれる変化～ ・大人に近づくにつれて、男女の体つきにどんな違いが現れるか考える ・変化が始まる時期や変化の現れ方には個人差があることを知る
	2	(知及技)思春期になると、初経・精通が起こり、異性への関心が芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることを理解できるようにする。 (思判表力)思春期の体の変化について学習したことを、自分の体の発達と結び付けて考え、表現することができるようにする。 (学・人)新しい生命を生み出す準備として自身の体に変化することについて受け止め、意欲的に学習活動に取り組むことができるようにする。	(知・技)思春期になると初経・精通が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることを理解している。 (思・判・表)思春期の体の変化について学習したことを自分の体の発育・発達と結び付けて考え、表現している。 (主学)新しい生命を生み出す準備として自身の体に変化することについて受け止め、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。	○思春期の体の変化② ～体の中にあられる変化～ ・体の中でどのような変化が起きているのかを調べる ・それらの変化の時期や起こり方には個人差があることを知る
	2	(知及技)よりよい発育のためには、適切な運動、調和のとれた食事、休養および睡眠が必要であることを理解できるようにする。 (思判表力)よりよい発育のためには、運動、食事、休養・睡眠などにおいて、どのような所に気をつけたらよいのか自らの生活を振り返りながら考え、説明できるようにする。 (学・人)よりよい発育のための運動、食事、休養・睡眠について、意欲的に考え、実行にうつすことができるようにする。	(知・技)よりよい発育のためには、適切な運動、調和のとれた食事、休養および睡眠が必要であることを理解している。 (思・判・表)よりよい発育のためには、運動、食事、休養・睡眠などにおいて、どのようなところに気をつけたらよいのか、自らの生活を振り返りながら考え、説明している。 (主学)よりよい発育のための運動、食事、休養・睡眠について、意欲的に考え、実行しようとしている。	○よりよい発育のために ・運動、食事、休養・睡眠について私生活を振り返る ・よりよい発育のためには上記がもたらす効果が大きいことを知り、どのようなことに気をつけたらよいのか考える
	留意点 引継ぎ等			

令和 5年度 小学部 4年（I課程） 道徳科 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
35	小学どうとく ゆたかな心 4年（光文書院）	

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	8	◎相手の心を思いやり、進んで親切にしようとする。 【理解、判断力】 親切にされるとうれしくなり、親切にすると自分も相手もうれしい気持ちになることが分かる。 【心情】 相手の心を思いやって親切にする人に対して、すばらしいなあと心が動く。 【実践意欲と態度】 相手の心を思いやり、進んで親切にしようとする。	・かさを貸してもらった前後の「わたし」の気持ちを捉え、相手のことを思いやり親切に接するすばらしさについて考えることができるようになったか。（多面的・多角的な見方） ・かさを貸したときの「わたし」の気持ちと自分を重ね合わせて、相手のことを思いやり親切に接することのよさについて考えるようになったか。（自分自身との関わり）	かさ 【思いやりのリレー】 【主】B 親切、思いやり 【関連】B 感謝	○親切な人について話し合う。 ○「かさ」を読み、思いやり、親切について考える。 ○親切な人についてまとめる。
2 学期	9	◎父母や祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくろうとする。 【理解、判断力】 家族が、家族のために慈しみの心をもって働き、尽くしてくれていることが分かる。 【心情】 家族のために働き、尽くす心のすばらしさやありがたさを感じる。 【実践意欲と態度】 家族の一員として家庭の生活で自分のできることをしようとする。	・お母さんの心を知る前と知った後のブラッドレーを捉え、家族を大切に思う心のありがたさやすばらしさについて考えることができるようになったか。（多面的・多角的な見方） ・お母さんの心を知ったブラッドレーと自分を重ね合わせて、思いやり慈しみ合う家族の大切さを考えられるようになったか。（自分自身との関わり）	お母さんのせいきゅう書 【お母さんの心】 【主】C 家族愛、家庭生活の充実 【関連】B 感謝	○家族がしてくれたことで、うれしかったことを思い出す。 ○「お母さんのせいきゅう書」を読み、家族のために尽くす親の心について考える。 ○自分が家族のためにできることを考え、まとめる。
	9	◎自分らしさに気づき、それを磨き上げて、自分を輝かせて生きていこうとする。 【理解、判断力】 自分を輝かせるもとである「自分らしさ」をもっており、それを磨くことで自分を輝かせることにつながること気づく。 【心情】 「自分らしさ」を磨き上げて輝かせようとすることのすばらしさに心を動かす。 【実践意欲と態度】 自分を輝かせて生きるために、「自分らしさ」を磨いていこうとする。	・話し合いの中の友達の見方から、自分らしさを磨く大切さについて考えられるようになったか。（多面的・多角的な見方） ・自分を輝かせることについて、自分自身を振り返って考えられるようになったか。（自分自身との関わり）	わたしのゆめ 【自分をかがやかせるために】 【主】A 個性の伸長 【関連】A 希望と勇氣、努力と強い意志	○「自分らしさ」について考える。 ○「わたしのゆめ」を読み、夢と「自分らしさ」の関係について考える。 ○「自分らしさ」を伸ばすために、自分がやっていきたいことをまとめる。
3 学期	9	◎尊い生命をもって、今生きていることのありがたさが分り、自らの生命を輝かせ、せいっぱい生きていこうとする。 【理解、判断力】 かけがえのない生命をもって、今生きていることのありがたさが分かる。 【心情】 自他の幸せに向かって、自らの生命を輝かせてせいっぱい生きていく姿に感動する。 【実践意欲と態度】 自他の幸せに向かって、自らの生命を輝かせてせいっぱい生きようとする意欲をもつ。	・生命の唯一性や有限性などの視点から、生命の尊さや「せいっぱい生きる」ということのすばらしさについて、考えることができるようになったか。（多面的・多角的な見方） ・盛田さんの生命についての思いと自分の生命についての思いと重ね合わせ、「せいっぱい生きる」ということの素晴らしさについて、考えることができるようになったか。（自分自身との関わり）	せいっぱい生きる 【せいっぱい生きる】 【主】D 生命の尊さ 【関連】A 希望と勇氣、努力と強い意志	○せいっぱい生きることについて話し合う。 ○「せいっぱい生きる」を読み、生命の尊さと「せいっぱい生きる」ことの意味について考える。 ○「せいっぱい生きる」ということについて、自分の考えをまとめる。

留意点 引継ぎ等	
-------------	--

令和 5年度 小学部4年 (I 課程) 外国語活動 年間指導計画

単位数 / 相当時数	教科書／副教材等	担当者名
35	Let's Try! 2	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。 (思判表力)身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。 (学・人)外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技)さまざまな挨拶の仕方があることに気付くとともに、さまざまな挨拶の言い方に慣れ親しむ。 (思判表力)友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合う。 (学・人)相手に配慮しながら、友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合おうとする。	(知・技)さまざまな挨拶の仕方があることに気付くとともに、さまざまな挨拶の言い方に慣れ親しんでいる。 (思・判・表)友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合っている。 (主学)相手に配慮しながら、友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合おうとしている。	Hello, world! 世界のいろいろなことばであいさつをしよう	・世界の様々な挨拶の仕方を知る。 ・自分の名前と好きな物を伝え、挨拶をする。
	5	(知及技)世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、さまざまな動作、遊びや天気の違い、遊びに誘う表現に慣れ親しむ。 (思判表力)好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。 (学・人)相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊びに誘おうとする。	(知・技)世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、さまざまな動作、遊びや天気の違い、遊びに誘う表現に慣れ親しんでいる。 (思・判・表)好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。 (主学)相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊びに誘おうとしている。	Let's play cards. 好きな遊びをつたえよう	・日本や世界の子どもの遊び、世界のさまざまな天気とその様子について知る。 ・様々な遊び、天気を表す言い方を知り、表現する。 ・好きな遊びについて聞いたり答えたりする。 ・好きな遊びに誘う。
	5	(知及技)世界の同年代の子供たちの生活を知るとともに、曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 (思判表力)自分の好きな曜日について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 (学・人)相手に配慮しながら、自分の好きな曜日を伝え合おうとする。	(知・技)世界の同年代の子供たちの生活を知るとともに、曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 (思・判・表)自分の好きな曜日について、尋ねたり答えたりして伝え合っている。 (主学)相手に配慮しながら、自分の好きな曜日を伝え合おうとしている。	I like Mondays. すきな曜日は何か な?	・世界の子どものための平日の放課後や週末の過ごし方を知る。 ・曜日を表す言い方や曜日を聞いたり答えたりする表現を知り、伝え合う。 ・一週間の予定や好きな曜日を聞いたり答えたりする。
2 学期	4	(知及技)世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や日課の言い方や尋ね方に慣れ親しむ。 (思判表力)自分の好きな時間について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 (学・人)相手に配慮しながら、自分の好きな時間について伝え合おうとする。	(知・技)世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や日課の言い方や尋ね方に慣れ親しんでいる。 (思・判・表)自分の好きな時間について、尋ねたり答えたりして伝え合っている。 (主学)相手に配慮しながら、自分の好きな時間について伝え合おうとしている。	What time is it? 今、何時?	・世界には時差があることを知る。 ・時刻や生活時間を表す言い方を知り、表現する。 ・好きな時間を聞いたり答えたりする。
	4	(知及技)文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 (思判表力)文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 (学・人)相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。	(知・技)文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 (思・判・表)文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合っている。 (主学)相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとしている。	Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう	・文房具を表す言い方を知り、その文房具の数を数える。
	3	(知及技)身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付き、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。 (思判表力)身の回りにおけるアルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。 (学・人)相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。	(知・技)身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付き、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しんでいる。 (思・判・表)身の回りにおけるアルファベットの文字クイズを出したり答えたりしている。 (主学)相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとしている。	Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう	・身の回りからアルファベットの文字を探る。 ・アルファベットを読む。 ・アルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。
4	(知及技)食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。 (思判表力)欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合う。 (学・人)相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。	(知・技)食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しんでいる。 (思・判・表)欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合っている。 (主学)相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとしている。	What do you want? ほしいものは何か な?	・世界の市場の様子を知る。 ・食材や、欲しいものを尋ねたり要求したりする言い方を知り、表現する。	

3 学 期	4	(知及技)世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、教科名や教室名の言い方や道案内の仕方に慣れ親しむ。 (思判表力)自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合ったりする。 (学・人)相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所について伝え合おうとする。	(知・技)世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、教科名や教室名の言い方や道案内の仕方に慣れ親しんでいる。 (思・判・表)自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合っている。 (主学)相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所について伝え合おうとしている。	This is my favorite place. お気に入りの場所をしようかいしよう	・世界の学校生活の様子を知る。 ・教室名を聞いて教科書から選び指さす。 ・教室名や教科名の言い方を知り、表現する。 ・校内の好きな場所や理由を伝え合う。
	3	(知及技)日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付き、日課を表す表現に慣れ親しむ。 (思判表力)絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かたりする。 (学・人)相手に配慮しながら、絵本などの短い話を聞いて反応しようとする。	(知・技)日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付き、日課を表す表現に慣れ親しんでいる。 (思・判・表)絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かたりしている。 (主学)相手に配慮しながら、絵本などの短い話を聞いて反応しようとしている。	This is my day. ぼく・わたしの一日	・短い話を聞いて、おおよその内容を理解する。
留意点 引継ぎ等					

令和 5年度 小学部4年 (I課程) 総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 /配當時数	教科書／副教材等	担当者名
35		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解できるようにする。 (思判表力)実社会や実生活の中から問を見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (学・人)探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。P13
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	15	(知及技)沖縄県の地理、産業、歴史、特産品等について理解する。 (思判表力)沖縄県の魅力について、どのようなことを発信したいか選び、見通しをもって計画する。 (学・人)沖縄県の魅力を発信するという目的に向け、積極的に計画する。	(知・技)沖縄県の地理、産業、歴史、特産品等について理解している。 (思・判・表)沖縄県の魅力について、どのようなことを発信したいか選び、見通しをもって計画している。 (主学)沖縄県の魅力を発信するという目的に向け、積極的に計画しようとしている。	沖縄県の魅力って何かな	・ 沖縄県ってどんな県かを考える(社会科と関連させながら) ・ 地理、産業、歴史、特産品などについて調べる(復習する) ・ 沖縄県の魅力について考える ・ みんなに伝えたい魅力を選ぶ
2 学期	15	(知及技)沖縄県の地理、産業、歴史、特産品等について理解する。 (思判表力)収集した多様な情報を分類・整理し、相手に伝わりやすい内容・方法について考えながらまとめる。 (学・人)沖縄県の魅力を発信するという目的に向け、積極的に調べたりまとめたりする。	(知・技)沖縄県の地理、産業、歴史、特産品等について理解している。 (思・判・表)収集した多様な情報を分類・整理し、相手に伝わりやすい内容・方法について考えながらまとめている。 (主学)沖縄県の魅力を発信するという目的に向け、積極的に調べたりまとめたりしようとしている。	沖縄県の魅力について調べよう・まとめよう	・ 選んだ魅力について本やインターネット等を活用して調べ学習を行う ・ 調べて分かったことをまとめる
3 学期	5	(知及技)沖縄県の地理、産業、歴史、特産品等について理解する。 (思判表力)調べてわかったことを相手に分かりやすく伝える。 (学・人)積極的に沖縄県の魅力を発信する。	(知・技)沖縄県の地理、産業、歴史、特産品等について理解している。 (思・判・表)調べてわかったことを相手に分かりやすく伝えている。 (主学)積極的に沖縄県の魅力を発信しようとしている。	みんなに沖縄県の魅力をアピールしよう	・ 友達や先生に調べたことを発表する
留意点 引継ぎ等					

令和 5 年度 小学部 4 年 (I 課程) 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
35		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	(知及技)各学校行事について知るとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けることができる。 (思判表力)学校行事を通して学校生活の充実を図り、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組むことができる。 (学・人)学校行事を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と尊重し合いながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくろうとする態度を養うことができる。	(知・技)各学校行事について知るとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けようとしている。 (思・判・表)学校行事を通して学校生活の充実を図り、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組もうとしている。 (主学)学校行事を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と尊重し合いながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくろうとする態度を養おうとしている。	【学校行事】 儀式的行事 ・就任式始業式 ・入学式 ・終業式 健康安全的行事 ・身体測定 ・火災避難訓練 ・交通安全教室 遠足的行事 ・春の遠足	儀式的行事 ・心ざわしいマナーを身に付ける。 ・厳粛で清らかな気分を味わう。 健康安全的行事 ・身体測定や健康診断等を通して、自身の健康状態に関心を持ったり、健康の保持増進に努めたりする。 ・避難訓練や交通安全指導等を通して、身の回りの危機を予測・回避し、安全な行動を身に付ける。 遠足的行事 ・平素と異なる自然や文化に触れて親しむ。集団活動を通して、公衆道徳などの体験を積み、よりよい人間関係を形成する。
	1	(知及技)自分自身の興味・関心やよさなどの個性を理解することができる。 (思判表力)日常生活について実現可能で具体的な目標を立てたり、意思決定したりすることができる。 (学・人)希望や目標を持って、自己のよさを生かして主体的に活動する態度を養うことができる。	(知・技)自分自身の興味・関心やよさなどの個性を理解しようとしている。 (思・判・表)日常生活について実現可能で具体的な目標を立てたり、意思決定しようとしている。 (主学)希望や目標を持って、自己のよさを生かして主体的に活動する態度を養おうとしている。	【学級活動】 「(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」	キャリアパスポートを活用した取り組み。 ・自分自身の良さや好きなことを見つけ、知る ・学期の目標をたてる ・目標達成に向けて主体的に活動する ・学期末に振り返る 等
	3	(知及技)児童会や委員会の活動について知るとともに、運営の仕方や異年齢集団による交流の仕方等を身に付けることができる。 (思判表力)児童会や委員会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題や活動計画、役割等について話し合い、協力して取り組むことができる。 (学・人)多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうと積極的に取り組む態度を養うことができる。	(知・技)児童会や委員会の活動について知るとともに、運営の仕方や異年齢集団による交流の仕方等を身に付けようとしている。 (思・判・表)児童会や委員会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題や活動計画、役割等について話し合い、協力して取り組もうとしている。 (主学)多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうと積極的に取り組む態度を養おうとしている。	【児童会活動】 ・児童生徒委員会 ・新転入生歓迎会 ・児童生徒総会 ・児童集会	児童生徒委員会 ・異学年の児童や他学部の生徒等と関わり協力しながら、計画や運営を行う。 新転入生歓迎会 ・入学転入した喜びを味わい、歓迎する。 ・みんなで楽しく過ごし交流を深める。 児童生徒総会 ・児童生徒会、専門委員会の活動を知る。 児童集会 ・集会活動の経験を積み、よりよい人間関係を形成する。 ・学年発表や挨拶などの割り当てられた役割を遂行する。 ・学校のリーダーとして司会進行等を積極的に行う。
	1	(知及技)基本的な生活習慣や心身の健康の保持増進の大切さを理解することができる。 (思判表力)基本的な生活習慣や心身の健康の保持増進を意識した行動の仕方を考えたり、自分に合った方法を意思決定したりすることができる。 (学・人)基本的な生活習慣を身に付けたり、心身の健康の保持増進をしたりしようとする態度を養うことができる。	(知・技)基本的な生活習慣や心身の健康の保持増進の大切さを理解しようとしている。 (思・判・表)基本的な生活習慣や心身の健康の保持増進を意識した行動の仕方を考えたり、自分に合った方法を意思決定しようとしている。 (主学)基本的な生活習慣を身に付けたり、心身の健康の保持増進をしたりしようとする態度を養おうとしている。	【学級活動】 「(2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」	夏休みの過ごし方について考える。 ・早寝早起き、栄養バランスのとれた食事、規則正しい生活 ・適度な運動習慣 ・家の人のお手伝い 等

8	<p>(知及技)各学校行事について知るとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力)学校行事を通して学校生活の充実を図り、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組むことができる。</p> <p>(学・人)学校行事を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と尊重し合いながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくろうとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技)各学校行事について知るとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表)学校行事を通して学校生活の充実を図り、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組もうとしている。</p> <p>(主学)学校行事を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と尊重し合いながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくろうとする態度を養おうとしている。</p>	<p>【学校行事】</p> <p>儀式的行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・終業式 <p>健康安全的行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体測定 ・火災避難訓練 ・地震津波避難訓練 ・運動会 	<p>儀式的行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふさわしいマナーを身に付ける。 ・厳粛で清らかな気分を味わう。 <p>健康安全的行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体測定を通して、自身の健康状態に関心を持ったり、健康の保持増進に努めたりする。 ・避難訓練等を通して、身の回りの危機を予測・回避し、安全な行動を身に付ける。 ・体育的な集団活動を通して、規律ある集団行動の仕方や運動に親しみ他者と協力する姿勢を身に付ける。
---	--	--	--	---

2 学期	1	(知及技)自分自身の興味・関心やよさなどの個性を理解することができる。 (思判表力)日常生活について実現可能で具体的な目標を立てたり、意思決定したりすることができる。 (学・人)希望や目標を持って、自己のよさを生かして主体的に活動する態度を養うことができる。	(知・技)自分自身の興味・関心やよさなどの個性を理解しようとしている。 (思・判・表)日常生活について実現可能で具体的な目標を立てたり、意思決定しようとしている。 (主学)希望や目標を持って、自己のよさを生かして主体的に活動する態度を養おうとしている。	【学級活動】 「(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」	キャリアパスポートを活用した取り組み。 ・自分自身の良さや好きなことを見つける、知る ・学期の目標をたてる ・目標達成に向けて主体的に活動する ・学期末に振り返る 等
	2	(知及技)児童会や委員会の活動について知るとともに、運営の仕方や異年齢集団による交流の仕方等を身に付けることができる。 (思判表力)児童会や委員会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題や活動計画、役割等について話し合い、協力して取り組むことができる。 (学・人)多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうと積極的に取り組む態度を養うことができる。	(知・技)児童会や委員会の活動について知るとともに、運営の仕方や異年齢集団による交流の仕方等を身に付けようとしている。 (思・判・表)児童会や委員会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題や活動計画、役割等について話し合い、協力して取り組もうとしている。 (主学)多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうと積極的に取り組む態度を養おうとしている。	【児童会活動】 ・児童生徒委員会 ・児童集会	児童生徒委員会 ・異学年の児童や他学部の生徒等と関わり協力しながら、計画や運営を行う。 児童集会 ・集会活動の経験を積み、よりよい人間関係を形成する。 ・学年発表や挨拶などの割り当てられた役割を遂行する。 ・学校のリーダーとして司会進行等を積極的に行う。
	1	(知及技)望ましい食習慣の形成を図ることの大切さや、食事を通して人間関係をより良くすることのよさを理解することができる。 (思判表力)給食の時間の楽しい食事の在り方や好き嫌いせず食べる、清潔にすること等、望ましい食習慣を形成するために判断し、行動することができる。 (学・人)主体的に望ましい食習慣や食生活を実現しようとする態度を養うことができる。	(知・技)望ましい食習慣の形成を図ることの大切さや、食事を通して人間関係をより良くすることのよさを理解しようとしている。 (思・判・表)給食の時間の楽しい食事の在り方や好き嫌いせず食べる、清潔にすること等、望ましい食習慣を形成するために判断し、行動しようとしている。 (主学)主体的に望ましい食習慣や食生活を実現しようとする態度を養おうとしている。	【学級活動】 「(2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」	望ましい食習慣の形成に向けて、栄養教諭の話聞いて、自分の食生活を直したり改善したりする。 ・楽しい給食時間の過ごし方 ・好き嫌いをせずに食べる ・給食時の清潔 ・給食準備や後片付け 等
3 学期	4	(知及技)各学校行事について知るとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けることができる。 (思判表力)学校行事を通して学校生活の充実を図り、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組むことができる。 (学・人)学校行事を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と尊重し合いながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくろうとする態度を養うことができる。	(知・技)各学校行事について知るとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けようとしている。 (思・判・表)学校行事を通して学校生活の充実を図り、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組もうとしている。 (主学)学校行事を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と尊重し合いながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくろうとする態度を養おうとしている。	【学校行事】 儀式的行事 ・始業式 ・卒業式 ・修了式 健康安全的行事 ・身体測定	儀式的行事 ・ふさわしいマナーを身に付ける。 ・厳粛で清らかな気分を味わう。 健康安全的行事 ・身体測定を通して、自身の健康状態に関心を持ったり、健康の保持増進に努めたりする。
	1	(知及技)自分自身の興味・関心やよさなどの個性を理解することができる。 (思判表力)日常生活について実現可能で具体的な目標を立てたり、意思決定したりすることができる。 (学・人)希望や目標を持って、自己のよさを生かして主体的に活動する態度を養うことができる。	(知・技)自分自身の興味・関心やよさなどの個性を理解しようとしている。 (思・判・表)日常生活について実現可能で具体的な目標を立てたり、意思決定しようとしている。 (主学)希望や目標を持って、自己のよさを生かして主体的に活動する態度を養おうとしている。	【学級活動】 「(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」	キャリアパスポートを活用した取り組み。 ・自分自身の良さや好きなことを見つける、知る ・学期の目標をたてる ・目標達成に向けて主体的に活動する ・学期末に振り返る 等
	3	(知及技)児童会や委員会の活動について知るとともに、運営の仕方や異年齢集団による交流の仕方等を身に付けることができる。 (思判表力)児童会や委員会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題や活動計画、役割等について話し合い、協力して取り組むことができる。 (学・人)多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうと積極的に取り組む態度を養うことができる。	(知・技)児童会や委員会の活動について知るとともに、運営の仕方や異年齢集団による交流の仕方等を身に付けようとしている。 (思・判・表)児童会や委員会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題や活動計画、役割等について話し合い、協力して取り組もうとしている。 (主学)多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうと積極的に取り組む態度を養おうとしている。	【児童会活動】 ・児童生徒委員会 ・児童会役員選挙 ・児童集会 ・6年生を送る会	児童生徒委員会 ・異学年の児童や他学部の生徒等と関わり協力しながら、計画や運営を行う。 児童会役員選挙 ・選挙規則や選挙の方法について知る。 ・投票箱や記載台を利用し、実際の選挙の雰囲気味わう。 ・よりよい学校作りを目指して選挙運動を行う。 児童集会 ・集会活動の経験を積み、よりよい人間関係を形成する。 ・学年発表や挨拶などの割り当てられた役割を遂行する。 ・学校のリーダーとして司会進行等を積極的に行う。 6年生を送る会 ・6年生の卒業をみんなで祝福し、全児童で楽しく関わり思い出を作る。
留意点 引継ぎ等					